

## 木地山橋橋梁補修工事概要

- 1 事業名 道路メンテナンス事業
- 2 事業地区 東伯郡三朝町大字木地山
- 3 事業内容 木地山橋 橋長 L=24.40m 幅員 W=6.80m
  - ひび割れ補修工（低圧注入） N=1 構造物
  - 断面修復工（左官工法） N=1 構造物
  - （充てん工法） V=0.02m<sup>3</sup>
  - 表面含浸工 A=291m<sup>2</sup>
  - 舗装打換え工 A=48m<sup>2</sup>
  - 鏡面防水工 A=48m<sup>2</sup>
  - 目地補修工 L=25.7m
  - 排水装置補修工 N=1 式
  - 水切り工 L=49m
  - 構造物撤去工 N=1 式
  - 仮設工 N=1 式
- 4 工期 令和8年12月25日



# 現場説明書

工 程	<p>① (他工事等との調整) <del>_____ については、_____ と関連するので相互の連絡調整を密にすること。</del></p> <p>② (部分完成、着工保留) <del>_____ については、_____ まで _____ [すること、しないこと]。</del></p> <p>③ (施工時間) 本工事の施工時間帯は、昼間施工(8:00~17:00)を見込んでいる。 <del>_____ の施工時間は、_____ とする。</del></p> <p>④ (余裕期間設定工事) <del>_____</del> 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領(平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知)の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 <del>工期については、調達公告のとおりとする。</del></p> <p>⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長) <del>_____</del> この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>⑥ (週休2日工事) 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】(該当しない場合は削除) 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領(平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知)の対象工事である。<a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm</a>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 <del>【治山工事、林道工事】(該当しない場合は削除)</del> 本工事は、鳥取県治山工事及び林道工事における週休2日の取得に要する費用計上実施要領(令和6年4月26日付第202400033117号森林・林業振興局長通知及び第202400031869号治山砂防課長通知)の対象工事である。<a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htm</a>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。 <del>【港湾工事、漁港工事】(該当しない場合は削除)</del> 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領(平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知)の対象工事である。<a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm</a>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 ただし、港湾工事及び漁港工事は、通期の週休2日の補正を適用しない。 そのため、月単位の週休2日に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除し、請負代金額の減額変更を行う。</p>
用 地 関 係	<p>① (用地、物件等未処理) <del>_____</del> 本工事区間の _____ には _____ があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____ 頃 _____ の予定である。</p>
支 障 物 件	<p>① (埋設物等の事前調査) 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、[未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 _____) について調査済み]である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 _____) であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>② (支障物件) <del>_____</del> _____ の施工に当たって、_____ が支障となっているが、_____ までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>③ (立木の置き場所) <del>_____</del> 工事用地内の立木は伐採し、_____ に置くこと。</p>
公 害 対 策	<p>① (低騒音型・低振動型建設機械) <del>_____</del> 本工事のうち施工箇所： _____ については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示、平成13年4月9日改正)に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種： _____、施工機械： _____</p>

安全対策	<p>① (交通安全施設等)</p> <p>一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <p>交通誘導員A <u>      </u>人 交替要員 <u>      </u>人 1日あたり合計 <u>      </u>人 配置日数 <u>      </u>日  <u>      </u>人・日              工事全体合計 <u>      </u>人・日</p> <p>交通誘導員B <u>      </u>2人 交替要員 <u>      </u>人 1日あたり合計 <u>      </u>2人 配置日数 <u>      </u>9日  <u>      </u>人・日              工事全体合計 <u>      </u>18人・日</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。</p> <p>また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>
濁水処理	<p>① (濁水処理)</p> <p>工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難い場合は別途協議すること。</p> <p>また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知)(<a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf">https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf</a>)に基づいて適正に処理すること。</p>
建設副産物の処理	<p>【建設発生土(処理)】</p> <p>① (他工事等流用) <del>_____</del></p> <p>建設発生土は <u>      </u>市・町・村 <u>      </u>地内の <u>      </u>に運搬(片道運搬距離 <u>      </u>km)するものとする。</p> <p>② (建設技術センター)</p> <p>建設発生土は <u>      </u>琴浦 <del>市・町・村</del> <u>      </u>八橋 地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 <u>      </u>46.6 km)するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当り <u>      </u>1,650 円をセンターに支払うこと。センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m<sup>2</sup>以上)</p> <p>③ (民間残土受入地) <del>_____</del></p> <p>建設発生土は <u>      </u>市・町・村 <u>      </u>地内の <u>      </u>に運搬(片道運搬距離 <u>      </u>km)するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当り <u>      </u>円を <u>      </u>に支払うこと。民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m<sup>2</sup>以上)</p> <p>④ (土質改良プラント) <del>_____</del></p> <p>建設発生土は <u>      </u>市・町・村 <u>      </u>地内の <u>      </u>に運搬(片道運搬距離 <u>      </u>km)するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当り <u>      </u>円を <u>      </u>に支払うこと。土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m<sup>2</sup>以上)</p> <p>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材(処理)】</p> <p>① (分別解体等) <del>_____</del></p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊 1m<sup>3</sup>当り <u>      </u>円              アスファルト塊 1m<sup>3</sup>当り <u>      </u>円              建設発生木材 1m<sup>3</sup>当り <u>      </u>円</p> <p>② (他工事等流用) <del>_____</del></p> <p><del>〔Co雑割材・_____〕は、_____市・町・村 _____地内 _____工事で使用するものとする。</del></p>

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の\_\_\_\_\_のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)を想定し、1t当り\_\_\_\_\_円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、[所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者]により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の\_\_\_\_\_への搬出(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)を想定し\_\_\_\_\_円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤ (再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・受入れ費用)

コンクリート塊 \_\_\_\_\_市・町・村 国府 地内の (株)河本建設  
(運搬距離 26.2 km)、費用 1 t 当り 2,500 円  
アスファルト塊 \_\_\_\_\_市・町・村 関金 地内の (株)アオキ建設  
(運搬距離 18.4 km)、費用 1 t 当り 2,000 円  
建設発生木材 \_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の\_\_\_\_\_  
(運搬距離\_\_\_\_\_km)、費用 1 t 当り\_\_\_\_\_円  
その他(廃プラ) \_\_\_\_\_市・町・村 鴨川町 地内の (株)クラエー  
(運搬距離 22.5 km)、費用 1 t 当り 5,000 円

(受入れ時間帯)

8時～17時(平日)

(受入れ条件)

ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。  
イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。  
ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径\_\_\_\_\_cm以下、長さ\_\_\_\_\_m以下であること。  
エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

⑥ (最終処理等)

\_\_\_\_\_については、\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)を想定し、その費用として1t当り\_\_\_\_\_円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦ (産業廃棄物の処理に係る税)


産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、\_\_\_\_\_円見込んでいる。

⑧ (伐木工の数量)

伐木工は伐木工歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているの、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、manifests で運搬量(体積(空m3))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材 搬出量	manifests 又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩ (manifests)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき manifests を作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の処理

建設副産物の使用	<p>① (建設発生土の使用)  <del>_____ 工事から [本工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。</del></p> <p>② (再生資材の使用)  <del>ア Co雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</del>  <del>イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</del>  <del>ウ 再生クラッシュラン [規格：Re=_____] は、使用箇所：_____ に使用する。</del>  <del>エ 再生コンクリート砂 [規格：RS=_____] は、使用箇所：_____ に使用する。</del>  <del>オ 再生加熱アスファルト混合物 [規格：_____] は、使用箇所：_____ に使用する。</del>  <del>カ その他再生資材 [資材名：_____] [規格：_____] は、使用箇所：_____ に使用する。</del>  <del>キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。</del>  <del>ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。</del></p>
工事用道路	<p>① (農地の一時転用について)          本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。  <b>【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】</b>          受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p> <p>② (農地の賃貸借)  <del>ア _____ の用途に使用するため、_____ 市・町・村 _____ 番地を賃貸借すること。</del>  <del>イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。</del>  <del>ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。</del>  <del>エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。</del>  <del>オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。</del></p>
その他	<p>① (自社施工)          本工事においては、<del>(※) _____ 工 (_____ 工を除く) のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。</del>  <del>※該当する細別 (レベル4) を記載する。</del></p> <p>② (工事名称)          工事標示板に記載する名称は、_____ 契約工事名 _____ とする。          なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。</p>

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である~~・ではな~~  
~~い~~〕。  
 イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と  
 協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と  
 〔する~~・しない~~〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するた  
 め。  
~~ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対  
 象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、5  
 00万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事~~  
~~イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に  
 限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国  
 庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるもの  
 を除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵  
 芥処理工事）~~  
~~ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事~~  
~~エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置  
 工事等）~~  
~~オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）~~

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般~~・重点~~〕監督とする。  
 重点監督の工種は~~\_\_\_\_\_~~とし、その他の工種は~~一般監督とする。~~  
 なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、~~\_\_\_\_\_~~（対象工事の区分を記載）工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の  
 留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協  
 議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が  
 含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。  
 ア 技能士種別：~~\_\_\_\_\_~~技能士、該当工種：~~\_\_\_\_\_~~工、特記事項根拠：~~\_\_\_\_\_~~頁  
 イ 技能士種別：~~\_\_\_\_\_~~技能士、該当工種：~~\_\_\_\_\_~~工、特記事項根拠：~~\_\_\_\_\_~~頁  
 ウ 技能士種別：~~\_\_\_\_\_~~技能士、該当工種：~~\_\_\_\_\_~~工、特記事項根拠：~~\_\_\_\_\_~~頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、  
 止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。  
 情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員  
 と協議の上、電子納品対象工事とする。  
 電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調  
 達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」  
 という。）に従い適正に納品すること。  
 オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載  
 された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第  
 202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。  
 ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によること  
 ができる。  
 システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施  
 すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用につ  
 いて」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することと  
 し、設計変更の対象とする。

そ  
の  
他

⑪ (建設機械の賃料の採用単価)

~~ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。  
通常単価を採用した建設機械〔無し・有り( )〕  
イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。  
本工事の 工で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格 t 吊)の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価 月号、頁)を採用し、本工事の 工で使用を想定している高所作業車(規格 )の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価 月号、頁)を採用している。~~

⑫ (現場環境改善)

~~【災害復旧工事以外】(該当しない場合は削除)  
本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔する・しない〕。  
下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。  
実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。  
地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。  
1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。  
また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。~~

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)

~~【災害復旧工事】(該当しない場合は削除)  
現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。~~

⑬ (熱中症対策)

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。  
また、気象庁から高温注意報(最高気温35℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

⑭ (現場管理費補正)

【治山工事、林道工事以外】 (該当しない場合は削除)

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

~~【治山工事、林道工事】 (該当しない場合は削除)~~

~~本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知)の対象工事である。~~

~~熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。~~

~~⑮ (日本芝生産地への配慮)~~

~~日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900209342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。ア [張芝工・筋芝工] は、日本芝の [野芝・高麗芝] を使用すること。~~

~~イ [植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

~~ウ [わら芝工・植生シート工・植生マット工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m<sup>2</sup>当り 〇〇円を見込んでいる。~~

~~⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])~~

~~本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。~~

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

~~⑱ (標示板の設置)~~

~~本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。~~

~~標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。~~

~~⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型]) 【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】~~

~~本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。~~

~~⑳ (遠隔臨場)~~

~~本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。~~

~~㉑ (施工管理システム)~~

~~本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。~~

~~<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>~~

その他

~~② (快適トイレの試行)~~

~~1. 内容~~

~~受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。~~

~~(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。~~

~~【快適トイレに求める機能】~~

- ~~(1) 洋式便器~~
- ~~(2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)~~
- ~~(3) 臭い逆流防止機能~~
- ~~(4) 容易に開かない施錠機能~~
- ~~(5) 照明設備~~
- ~~(6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)~~

~~【付属品として備えるもの】~~

- ~~(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示~~
- ~~(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫~~
- ~~(9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)~~
- ~~(10) 鏡と手洗器~~
- ~~(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品~~

~~【推奨する仕様、付属品】~~

- ~~(12) 室内寸法 900×900mm 以上(面積ではない)~~
- ~~(13) 擬音装置(機能を含む)~~
- ~~(14) 着替え台~~
- ~~(15) 臭気対策機能の多重化~~
- ~~(16) 室内温度の調整が可能な設備~~
- ~~(17) 小物置き場(トイレトペーパー予備置き場等)~~

~~2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】(該当しない場合は削除)~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

~~2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事】(該当しない場合は削除)~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

~~3. その他~~

~~快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。~~

その他

~~③ 大型コンクリートブロック積擁壁~~

~~大型ブロック及び基礎コンクリートは○○○○○○(製品名を記載)(以下「想定製品」という。)同等以上の品質を有すること。なお、想定製品以外の製品を使用する場合は、その製品に合わせた構造図、展開図等の作成及び擁壁高が8.0mを超える場合は地震時の安定性の検討を行い、事前に監督員の承諾を得ること。~~

# 工事設計書

施工年度	令和 08 年度																						
事業区分																							
路線名 河川名等	町道木地山線																						
工事名	木地山橋橋梁補修工事																						
施工位置	東伯郡三朝町木地山																						
設計金額																							
工事概要	<p>橋梁補修工事（木地山橋 橋長L=24.40m 幅員W=6.80m）</p> <table><tr><td>ひび割れ補修工（低圧注入工法）</td><td>N=1構造物（延べ延長L=14m）</td></tr><tr><td>断面修復工（左官工法）</td><td>N=1構造物（鉄筋外シ・防錆処理有り）V=0.98m<sup>3</sup>）</td></tr><tr><td>（充填工法）</td><td>V=0.02m<sup>3</sup></td></tr><tr><td>表面含浸工</td><td>A=291m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>舗装打換え工</td><td>A=48m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>橋面防水工</td><td>A=48m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>目地補修工</td><td>L=25.7m</td></tr><tr><td>排水装置補修工</td><td>N=1式</td></tr><tr><td>水切り工</td><td>L=49m</td></tr><tr><td>構造物撤去工</td><td>N=1式</td></tr><tr><td>仮設工</td><td>N=1式</td></tr></table>	ひび割れ補修工（低圧注入工法）	N=1構造物（延べ延長L=14m）	断面修復工（左官工法）	N=1構造物（鉄筋外シ・防錆処理有り）V=0.98m <sup>3</sup> ）	（充填工法）	V=0.02m <sup>3</sup>	表面含浸工	A=291m <sup>2</sup>	舗装打換え工	A=48m <sup>2</sup>	橋面防水工	A=48m <sup>2</sup>	目地補修工	L=25.7m	排水装置補修工	N=1式	水切り工	L=49m	構造物撤去工	N=1式	仮設工	N=1式
ひび割れ補修工（低圧注入工法）	N=1構造物（延べ延長L=14m）																						
断面修復工（左官工法）	N=1構造物（鉄筋外シ・防錆処理有り）V=0.98m <sup>3</sup> ）																						
（充填工法）	V=0.02m <sup>3</sup>																						
表面含浸工	A=291m <sup>2</sup>																						
舗装打換え工	A=48m <sup>2</sup>																						
橋面防水工	A=48m <sup>2</sup>																						
目地補修工	L=25.7m																						
排水装置補修工	N=1式																						
水切り工	L=49m																						
構造物撤去工	N=1式																						
仮設工	N=1式																						

# 総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系 ファイル名	78 三朝町 設計書 当初 08-*****-00001-10 0 1 実施単価 23 三朝町 00-08.04.10(0)  1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 00 率計上しない 13 一般交通影響有り(2) 01 金銭保証(0.04%) 01 豪雪割増あり 00 千円止め(土木) 01 算出する 13 完全週休2日				

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
橋梁保全工事						Y1G03 (レ <sup>^</sup> ル1)
橋梁補修工			一式			Y1G0324 (レ <sup>^</sup> ル2)
ひび割れ補修工			一式			Y1G032404 (レ <sup>^</sup> ル3)
低圧注入工法			一式			Y1G03240402 (レ <sup>^</sup> ル4)
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 L=13.6m	1		構造物			S1020035 00 A=2, B=0.9, C=3, D=1.3, E=4, F=55 単第0 -0001 表 080410
断面修復工			一式			Y1G032405 (レ <sup>^</sup> ル3)
左官工法			構造物			Y1G03240501 (レ <sup>^</sup> ル4)
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.98m3	1		構造物			S1020041 00 A=0.98, B=1, C=0.98 単第0 -0002 表 080410

# 本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
充填工法					Y4999 (レベル4)
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工		一式			SDT00033 00 A=1, B=2, D=1
	0.02	m3			単第0 -0003 表 080410
小規模無収縮モルタル工 半日施工(0.4m3未満) V=0.01m3 R7橋梁補修補強工事積算の手引き199頁		一式			V1001 00
【材工】プライマー工	1				単第0 -0004 表 080410
見積 型枠 一般型枠 小型構造物	0.2	m <sup>2</sup>			V2002 00 単第0 -0006 表 080410
型枠 一般型枠 小型構造物	0.1	m2			SPK25040159 00 A=1, B=2, C=1 単第0 -0007 表 080410
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	0.2	m2			SPK25040159 00 A=1, B=3, C=1 単第0 -0008 表 080410
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.001	t			SS000099 00 A=1, B=5, D=1, E=1, F=2, H=1, I=1, J=1, K=1 単第0 -0009 表 080410
ケミカルアンカー R-10N					F0008 00
建設物価4月70頁	4	本			080410
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満					SPK25040114 00 A=1
	4	孔			単第0 -0010 表 080410

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
表面含浸工									Y1G032406 (レバ Ⅱ3)	
				一式						
下地処理									Y1G03240601 (レバ Ⅱ4)	
				一式						
表面含浸工 下地処理 時間的制約無 高所作業車無									F0005 00	
										080410
土木工事情報春p424	291		m <sup>2</sup>							
含浸材塗布									Y1G03240605 (レバ Ⅱ4)	
				一式						
表面含浸工 含浸材塗布 時間的制約無 高所作業車無 固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材 土木工事情報春p425	291		m <sup>2</sup>						F0006 00	080410
【材】固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材 (標準使用量0.30kg/m <sup>2</sup> 取率10%)									F0007 00	080410
見積	96.1		L							
舗装打換え工									Y2999 (レバ Ⅱ2)	
				一式						
舗装版切断									Y3999 (レバ Ⅱ3)	
				一式						
舗装版切断									Y1G03270602 (レバ Ⅱ4)	
				m						

# 本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	85	m			SPK25040307 00 A=1, B=1, E=1 単第0 -0011 表 080410
舗装版破碎工		一式			Y3999 (レベル3)
舗装版破碎		m <sup>2</sup>			Y1G03270603 (レベル4)
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等有り 舗装版厚4cm以下	36	m <sup>2</sup>			SPK25040306 00 A=1, B=2, D=4, F=1, G=1 単第0 -0012 表 080410
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等有り 舗装版厚10cmを超え15cm以下	12	m <sup>2</sup>			SPK25040306 00 A=1, B=2, D=6, F=1, G=1 単第0 -0013 表 080410
橋面防水工		一式			Y3999 (レベル3)
橋面防水		一式			Y4999 (レベル4)
橋面防水工 塗膜系防水(アスファルト系)	48	m <sup>2</sup>			F0001 00 080410
土木工事情報春p191 導水テープ b=30、t=3 クシャット導水テープ 同等品以上 Web建設物価(中国)	35	m			F0002 00 080410

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
成形目地材 b=35、t=5 瀝青ゴム系防水材 セロシ-ルSS同等品以上 Web建設物価(中国)	53	m			F0003 00
					080410
舗装工		一式			Y3999 (レバ Ⅱ3)
アスファルト舗装工		一式			Y4999 (レバ Ⅱ4)
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚60mm	12	m2			SPK25040244 00 A=4, B=60, C=25, D=5, E=1, G=1, H=1, I=1 単第0 -0014 表 080410
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚60mm	12	m2			SPK25040244 00 A=4, B=60, C=25, D=5, E=5, G=1, H=1, I=1 単第0 -0015 表 080410
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚40mm	24	m2			SPK25040244 00 A=4, B=40, C=25, D=5, E=5, G=1, H=1, I=1 単第0 -0016 表 080410
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚30mm	12	m2			SPK25040244 00 A=4, B=30, C=25, D=5, E=5, G=1, H=1, I=1 単第0 -0017 表 080410
橋梁付属物工		一式			Y1G0321 (レバ Ⅱ2)
目地補修工		一式			Y3999 (レバ Ⅱ3)

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
目地材充填					Y4999 (レール4)
		一式			
【工】遊間部清掃					V2003 00
見積	25.7	m			単第0 -0018 表 080410
【材工】目地材充填工 20mm×170mm ゴム状高弾性目地材 プライマー、バックアップ材含む					V2004 00
見積	8.6	m			単第0 -0019 表 080410
【材工】目地材充填工 20mm×70mm ゴム状高弾性目地材 プライマー、バックアップ材含む					V2005 00
見積	8.6	m			単第0 -0020 表 080410
【材工】目地材充填工 20mm×60mm ゴム状高弾性目地材 プライマー、バックアップ材含む					V2006 00
見積	8.6	m			単第0 -0021 表 080410
排水施設工					Y1G032103 (レール3)
		一式			
排水管					Y1G03210302 (レール4)
		m			
橋梁_排水管設置 足場有り					SPK25040409 00 A=2
	1	m			単第0 -0022 表 080410
硬質ポリ塩化ビニル管 VP125A					F0009 00
建設物価4月689頁(m換算)	1.2	m			080410

# 本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【材】塩ビ製TSフランジ 125A					F0010 00
見積	1	個			080410
【材】ボルト・ナット M8×25					F0011 00
見積	3	本			080410
コンクリートアンカーボルト設置 芯棒打込み式 M12(W1/2)×70 電気亜鉛めっき					SPK25040408 00 A=2, B=1, C=4
	4	本			単第0 -0023 表 080410
排水桝取替工					Y3999 (レベル3)
		一式			
排水桝取替工					Y4999 (レベル4)
		一式			
既設排水桝撤去					V2001 00
見積	8	基			単第0 -0024 表 080410
補修工事ガス切断切削仕上工 半日施工(12.5m未満) L=1.4m R7橋梁補修補強工事積算の手引き200頁 構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工					V1004 00
	1	一式			単第0 -0025 表 080410
					SDT00031 00 A=1, B=2, D=1
	0.03	m3			単第0 -0026 表 080410
排水桝 排水桝B 20kg/個未満 橋梁用排水桝(各種)					SPK25040295 00 A=2, B=2, C=6
	8	箇所			単第0 -0027 表 080410

# 本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
無収縮モルタル					V1002 00
R7土木工事標準積算基準書 -7- -13	0.03	m <sup>3</sup>			単第0 -0005 表 080410
水切り工		一式			Y3999 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ3)
水切り工		一式			Y4999 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ4)
【工】水切り材設置 下地処理、接着剤塗布含む					V2007 00
見積	49	m			単第0 -0028 表 080410
後付け型水切り材 ウォーターカッター 25×20×1000mm 球ボンド、取付け台含む 建設物価4月349頁	49	m			F10011 00 080410
構造物撤去工		一式			Y1G0327 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ2)
運搬処理工		一式			Y1G032716 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ3)
積込		一式			Y4999 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ4)
積込(コンクリート殻)					SPK25040113 00 A=1
	1	m <sup>3</sup>			単第0 -0029 表 080410

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
殻運搬									Y1G03271601 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ4)	
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超) L=26.2km	1				m3				SPK25040155 00 A=1, B=1, C=2, D=64, E=1 単第0 -0030 表	080410
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超) L=18.4km	3				m3				SPK25040155 00 A=3, B=3, C=1, D=59, E=1 単第0 -0031 表	080410
殻処分									Y1G03271602 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ4)	
投棄料									#0041 C=投棄料	
処分費 コンクリート(無筋) (有)河本建設 県単価	2				t				F10000 00	080410
処分費 アスファルト (有)不動 県単価	7				t				F20000 00	080410
仮設工									Y1G0328 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ2)	
足場工									Y3999 (レ <sup>ハ</sup> Ⅱ3)	

# 本工事費 内訳書

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
吊足場									Y4999	(レール4)
				一式						
吊足場 タイプA1 桁高h<1.5									VA0001	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	140		m <sup>2</sup>						単第0 -0032	表 080410
床面シート張防護工 (タイプA1~A3対応)									VA0123	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	140		m <sup>2</sup>						単第0 -0033	表 080410
朝顔(両側) タイプB									VB0001	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	111		m <sup>2</sup>						単第0 -0034	表 080410
朝顔(片側) タイプB									VB0002	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	29		m <sup>2</sup>						単第0 -0035	表 080410
シート張防護工(両側) タイプBに加算・対応									VB0013	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	111		m <sup>2</sup>						単第0 -0036	表 080410
シート張防護工(片側) タイプBに加算・対応									VB0014	00
R7橋梁架設工事の積算4-12頁	29		m <sup>2</sup>						単第0 -0037	表 080410
片側朝顔防護足場 タイプE									VE0001	00
シート張防護 R7橋梁架設工事の積算4-13頁	12		m <sup>2</sup>						単第0 -0038	表 080410
土のう工									Y1G032804	(レール3)
				一式						

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	単	金	備	考
大型土のう						Y1G03280419 (レ <sup>^</sup> Ⅱ4)	
				袋			
大型土のう製作・設置 バックホウによる設置						S1050019 00 A=1, B=7, C=8	
	13			袋		単第0 -0039 表	080410
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m H 2m						S1050057 00 A=1, B=1	
	13			袋		単第0 -0041 表	080410
残土処理工						Y1G030310 (レ <sup>^</sup> Ⅱ3)	
				一式			
土砂等運搬						Y1G03031002 (レ <sup>^</sup> Ⅱ4)	
				m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離60.0km以下(31.5km超) L=46.6km						SPK25040002 00 A=1, B=1, C=1, D=2, E=54	
	13			m3		単第0 -0043 表	080410
残土等処分						Y1G03031003 (レ <sup>^</sup> Ⅱ4)	
				m3			
投棄料						#0041 C=投棄料	
				一式			
処分費 残土 帽子取第2事業所 県単価						F40000 00	080410
	13			m3			

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場発生品運搬					Y1G03271603 (レ <sup>ハ</sup> ル4)
		回			
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)	0.03	t			SPK25040411 00 A=1, B=2, C=17 単第0 -0044 表 080410
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t積2.9t吊	0.03	t			SPK25040412 00 A=1 単第0 -0045 表 080410
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 廃プラスチック (株)クラエー 県単価	0.07	m <sup>3</sup>			F30000 00 080410
仮水路工		一式			Y1G032808 (レ <sup>ハ</sup> ル3)
暗渠排水管		m			Y1G03280803 (レ <sup>ハ</sup> ル4)
高密度ポリエチレン管設置撤去工 700 ダブル管	16	m			V1009 00 単第0 -0046 表 080410
R7土地改良工事積算基準576頁 交通管理工		一式			Y1G032821 (レ <sup>ハ</sup> ル3)

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員					Y1G03282101 (レール4)
交通誘導警備員B		人			R0369 00
	18	人			080410 1
** 直接工事費 **					
共通仮設費					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
** 工事原価 **					
一般管理費率 分					

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費						
一般管理費計						
** 工事価格 **						
** 消費税相 当額 **						
** 工事費計 **						

# 施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)  
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0001 表

1 1 構造物 当り

L=13.6m

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001
普通作業員	1.800	人			RTPC00002
土木補修用エポキシ樹脂注入材 3種	0.900	kg			F0000000002 県単価
シール材 エポキシ樹脂系	1.781	kg			F0000000003 県単価
【材】低圧注入器具	55.000	個			F0000000004 見積
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=2 【F】注入材(kg) C=3 【F】シール材(kg) E=4 【F】低圧注入器具(個)			B=0.9 D=1.3 F=55		注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * ( 1 + ロス率 ) = 1.300000000 * ( 1 + 0.37 ) = 1.781(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

# 施工単価表

単第0 -0002 表

断面修復工(左官工法)  
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041  
修復延べ体積0.98m3

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	27.440	人			RTPC00009 9
特殊作業員	51.940	人			RTPC00001 9
普通作業員	27.440	人			RTPC00002 9
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	1.156	m <sup>3</sup>			F000000001 県単価
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.98 C=0.98	1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) 断面修復材の設計数量(m3/構造物)		B=1	【F】断面修復材(m3)	
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D2 = 0.98000000 / 0.1 * 2.8 = 27.440$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.98000000 / 0.1 * 5.3 = 51.940$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.98000000 / 0.1 * 2.8 = 27.440$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * ( 1 + ロス率 ) = $0.98000000 * ( 1 + 0.18 ) = 1.156$ (m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

# 施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)  
人力施工

SDT00033

単第0 -0003 表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001579
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 D=1 時間的制約なし			B=2 人力施工		

# 施工単価表

小規模無収縮モルタル工  
 半日施工(0.4m3未満)

V1001  
 V=0.01m3

単第0 -0004 表  
 R7橋梁補修補強工事積算の手引き199頁

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009 9
特殊作業員	1.5	人			RTPC00001 9
普通作業員	1	人			RTPC00002 9
無収縮モルタル	0.01	m <sup>3</sup>			V1002 単第0-0005 表 R7土木工事標準積算基準書 -7- -13
諸雑費	6	%			#09 労務費合計の6%
*** 単位当たり ***	1	一式			



# 施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009
特殊作業員	2.0	人			RTPC00001
普通作業員	2.0	人			RTPC00002
【材】吸水調整プライマー 超微粒子系アクリルエマルジョン 標準使用量0.15kg/m <sup>2</sup> 収率20%	0.18	kg			F0014
諸雑費	10	%			#09 労務費合計の10%
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			

# 施工単価表

SPK25040159

単第0 -0007 表

型枠

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

# 施工単価表

SPK25040159

単第0 -0008 表

型枠

一般型枠

鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.23%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	32.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=3 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)		

# 施工単価表

鉄筋工  
SD345 D13

SS000099

単第0 -0009 表

一般構造物 [規]10t未満

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 加工・組立共	1.000	t			TSPC00001
異形棒鋼 SD345 D13	1.030	t			TTPC00001 1*1.03
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満			B=5 SD345_D13 E=1 - H=1 - J=1 -		
I=1 - K=1 -					

# 施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0010 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15%

労務構成比: 95.53%

材料構成比: 2.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 出力2kVA	1.03%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.72%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン レギュラー スタンド	1.89%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

# 施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0010 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15%

労務構成比: 95.53%

材料構成比: 2.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 削孔深さ30mm以上200mm未満					

# 施工単価表

舗装版切断  
アスファルト舗装版

SPK25040307

アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0011 表

1

m 当り

機械構成比: 15.05% 労務構成比: 58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン レギュラー スタンド	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

# 施工単価表

単第0 -0011 表

舗装版切断

SPK25040307

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=1 アスファルト舗装版 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

# 施工単価表

単第0 -0012 表

舗装版破碎  
アスファルト舗装版

SPK25040306

障害等有り 舗装版厚4cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.56% 労務構成比:

96.47% 材料構成比: 1.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.21%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.35%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	52.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	43.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	1.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 D=4 舗装版厚4cm以下 G=1 -(全ての費用)			B=2 障害等有り F=1 積込作業有り		

# 施工単価表

単第0 -0013 表

舗装版破碎  
アスファルト舗装版

SPK25040306

障害等有り 舗装版厚10cmを超え15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.87% 労務構成比:

95.77% 材料構成比: 2.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.45%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.42%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	51.82%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	43.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	2.36%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 D=6 舗装版厚10cmを超え15cm以下 G=1 -(全ての費用)			B=2 障害等有り F=1 積込作業有り		

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.44%

労務構成比: 10.68%

SPK25040244

1層当り平均仕上厚60mm

材料構成比: 87.88%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0014 表

1

m2 当り

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6m	0.92%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t	0.14%		タイヤローラ  質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

単第0 -0014 表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員3.0m超

SPK25040244

1層当り平均仕上厚60mm

機械構成比: 1.44% 労務構成比: 10.68%

材料構成比: 87.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1 m2 当り

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生密粒アスコン 改質型(13)  県単価	84.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F000000005 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.57%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	0.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=25 E=1 H=1	平均幅員3.0m超 材料各種(2.30以上2.40t/m3未満) PK-4 -		B=60 D=5 G=1 I=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 【F】As混合物(t) - -(全ての費用)	

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員3.0m超

SPK25040244

1層当り平均仕上厚60mm

単第0 -0015 表

1

m2 当り

機械構成比: 1.42%

労務構成比: 10.48%

材料構成比: 88.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6m	0.95%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t	0.15%		タイヤローラ  質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t	0.15%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

単第0 -0015 表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員3.0m超

SPK25040244

1層当り平均仕上厚60mm

機械構成比: 1.42% 労務構成比: 10.48%

材料構成比: 88.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1

m2 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生密粒アスコン 改質型(13)  県単価	87.50%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F000000005 TTPT00284
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	0.53%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=25 E=5 H=1	平均幅員3.0m超 材料各種(2.30以上2.40t/m3未満) 瀝青材料無し -		B=60 D=5 G=1 I=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 【F】As混合物(t) - -(全ての費用)	

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比:

1.42%

労務構成比:

10.48%

材料構成比:

88.10%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1

m2 当り

SPK25040244

1層当り平均仕上厚40mm

単第0 -0016 表

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6m	0.95%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t	0.15%		タイヤローラ  質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t	0.15%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

単第0 -0016 表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

機械構成比: 1.42%

労務構成比: 10.48%

材料構成比: 88.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1

m2 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生密粒アスコン 改質型(13)  県単価	87.50%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F000000005 TTPT00284
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	0.53%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=25 E=5 H=1	平均幅員3.0m超 材料各種(2.30以上2.40t/m3未満) 瀝青材料無し -		B=40 D=5 G=1 I=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 【F】As混合物(t) - -(全ての費用)	

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.42%

労務構成比: 10.48%

SPK25040244

1層当り平均仕上厚30mm

材料構成比: 88.10%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0017 表

標準単価:

1

m2 当り

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6m	0.95%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t	0.15%		タイヤローラ  質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t	0.15%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

単第0 -0017 表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚30mm

機械構成比: 1.42%

労務構成比: 10.48%

材料構成比: 88.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1

m2 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生密粒アスコン 改質型(13)  県単価	87.50%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F000000005 TTPT00284
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	0.53%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=25 E=5 H=1	平均幅員3.0m超 材料各種(2.30以上2.40t/m3未満) 瀝青材料無し -		B=30 D=5 G=1 I=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 【F】As混合物(t) - -(全ての費用)	

【工】遊間部清掃

V2003

# 施工単価表

単第0 -0018 表

頁0-0040

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009 9
特殊作業員	1	人			RTPC00001 9
普通作業員	1	人			RTPC00002 9
諸雑費	12	%			#09 労務費合計の12%
*** 合計 ***	25.7	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

25.7 m 当り

# 施工単価表

単第0 -0019 表

【材工】目地材充填工

V2004

20mm×170mm ゴム状高弾性目地材

プライマ、バックアップ材含む

見積

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			RTPC00009 9
特殊作業員	5	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.5	人			RTPC00002 9
【材】ゴム状弾性目地材 比重1.4 収率20%	57.12	kg			F0015 見積
バックアップ材 ウレタンフォーム	10.4	L			F10007 見積
諸雑費	10	%			#09 労務費合計の10%
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施工単価表

単第0 -0020 表

【材工】目地材充填工

V2005

20mm×70mm ゴム状高弾性目地材

プライマ、バックアップ材含む

見積

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.8	人			RTPC00009 9
特殊作業員	1.6	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.6	人			RTPC00002 9
【材】ゴム状弾性目地材 比重1.4 収率20%	23.52	kg			F0015 見積
バックアップ材 ウレタンフォーム	10.4	L			F10007 見積
諸雑費	10	%			#09 労務費合計の10%
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施工単価表

単第0 -0021 表

【材工】目地材充填工

V2006

20mm×60mm ゴム状高弾性目地材

プライマ、バックアップ材含む

見積

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.8	人			RTPC00009 9
特殊作業員	1.6	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.6	人			RTPC00002 9
【材】ゴム状弾性目地材 比重1.4 収率20%	20.16	kg			F0015 見積
バックアップ材 ウレタンフォーム	10.4	L			F10007 見積
諸雑費	10	%			#09 労務費合計の10%
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

橋梁\_排水管設置  
足場有り

SPK25040409

# 施工単価表

単第0 -0022 表

頁0-0044

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1

m 当り

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	30.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	22.12%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り					

# 施工単価表

コンクリートアンカーボルト設置

SPK25040408

単第0 -0023 表

芯棒打込み式

M12(W1/2) × 70 電気亜鉛めっき

1

本 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 93.00%

材料構成比: 7.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	46.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	22.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	21.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12 建設物価4月63頁	6.87%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		TTPC00217 TTPT00217
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り C=4 M12(W1/2) × 70 電気亜鉛めっき			B=1 芯棒打込み式		

# 施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	1.5	人			RTPC00021 9
橋りょう特殊工	3.0	人			RTPC00020 9
普通作業員	3.0	人			RTPC00002 9
諸雑費	15	%			#09 労務費の25%
*** 合計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

# 施工単価表

補修工事ガス切断切削仕上工  
 半日施工(12.5m未満)

V1004  
 L=1.4m

単第0 -0025 表  
 R7橋梁補修補強工事積算の手引き200頁

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.5	人			RTPC00021 9
橋りょう特殊工	1.35	人			RTPC00020 9
諸雑費	33	%			#09 労務費合計の33%
*** 単位当たり ***	1	一式			



# 施工単価表

単第0 -0027 表

排水柵  
排水柵B 20kg/個未満  
機械構成比： 0.00%

SPK25040295

橋梁用排水柵(各種)

労務構成比： 32.74%

材料構成比： 67.26%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

箇所 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
【材】排水柵装置	67.26%		橋梁用排水柵 綱桁用Aタイプ 首下265 FC250本体 13.6kg/個		F000000006 TTPT00379
見積 積算単価			積算単価		EP001
A=2 排水柵B 20kg/個未満 C=6 【F】橋梁用排水柵(箇所)			B=2 橋梁用排水柵(各種)		

# 施工単価表

V2007

単第0 -0028 表

【工】水切り材設置  
下地処理、接着剤塗布含む

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.25	人			RTPC00009 9
特殊作業員	0.5	人			RTPC00001 9
普通作業員	0.5	人			RTPC00002 9
諸雑費	10	%			#09 労務費合計の12%
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

積込(コンクリート殻)

SPK25040113

# 施工単価表

単第0 -0029 表

頁0-0051

機械構成比: 9.24% 労務構成比: 86.65% 材料構成比: 4.11% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1

m3 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	9.24%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
普通作業員	78.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	8.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	4.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

単第0 -0030 表

殻運搬

SPK25040155

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超) L=26.2km

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=64 運搬距離28.4km以下(23.2km超)		

# 施工単価表

単第0 -0031 表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 44.05% 労務構成比: 39.87%

SPK25040155  
DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超) L=18.4km

材料構成比: 16.08% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1 m3 当り

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=59 運搬距離22.0km以下(11.5km超)		

# 施工単価表

吊足場  
タイプA1 桁高h<1.5

VA0001

単第0 -0032 表

R7橋梁架設工事の積算4-12頁

1 m<sup>2</sup> 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.143	人			RTPC00020
足場損料	1.7	月			0.130×1.1(現場環境条件補正) W0001
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			













大型土のう製作・設置  
バックホウによる設置

S1050019

# 施工単価表

単第0 -0039 表

頁0-0061

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			RTPC00009 9
特殊作業員	0.294	人			RTPC00001 9
普通作業員	0.294	人			RTPC00002 9
耐候性大型土のう 110×110cm 短期仮設(1年)対応	10	枚			F000000007 県単価
山土 CBR 12	10	m <sup>3</sup>			F000000008 県単価
機-28_バックホウ運転(賃料) C付2.9t吊_山積0.45m <sup>3</sup> _後方超小型旋回型	0.294	日			S9035 単第0-0040 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 C=8	バックホウによる設置 【F】土砂(m <sup>3</sup> )		B=7	【F】大型土のう(袋)	
土木一般世話役 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 34 = 0.294 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
特殊作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 34 = 0.294 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
普通作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 34 = 0.294 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
バックホウ運転 = 10 / D = 10 / 34 = 0.294 (日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

# 施工単価表

単第0 -0040 表

機-28\_バックホウ運転(賃料)  
C付2.9t吊 山積0.45m3 後方超小型旋回型

S9035

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	63.00	L			TTPC00013
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	1.28	供用日			KTPC00067
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=23 C=1	C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型 運転労務数量(人/日)		B=63 D=1.28	軽油消費量(L/日) 機械賃料数量(供用日/日)	

# 施工単価表

単第0 -0041 表

大型土のう撤去  
設置作業半径 6m以下

S1050057  
設置面高さ -3m H 2m

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.087	人			RTPC00009 9
特殊作業員	0.087	人			RTPC00001 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.087	日			S9035 単第0-0042 表
諸雑費	0.4	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 設置作業半径_6m以下			B=1 設置面高さ_-3m H 2m		
土木一般世話役 = $1 * 10 / D = 1 * 10 / 115 = 0.087$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $1 * 10 / D = 1 * 10 / 115 = 0.087$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = $10 / D = 10 / 115 = 0.087$ (日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

# 施工単価表

機-28\_バックホウ運転(賃料)  
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0042 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	101.00	L			TTPC00013
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.21	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=5 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=101 D=1.21	軽油消費量(L/日) 機械賃料数量(供用日/日)	

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0043 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離60.0km以下(31.5km超)

L=46.6km

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=54 距離60.0km以下(31.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK25040411

単第0 -0044 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40%

材料構成比: 2.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊運転手	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=17 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)			B=2 DID区間有り		

# 施工単価表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し  
クレーン装置付BT2t積2.9t吊

SPK25040412

単第0 -0045 表

1

t 当り

機械構成比: 13.73% 労務構成比: 83.47% 材料構成比: 2.80% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.73%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊運転手	41.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	2.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2.9t吊					

# 施工単価表

高密度ポリエチレン管設置撤去工  
700 ダブル管

V1009

単第0 -0046 表

R7土地改良工事積算基準576頁

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
高密度ポリエチレン管 700 ダブル管 損耗率1~3ヶ月未満45%	100	m			F0013 建設物価4月388頁
土木一般世話役	0.98	人			RTPC00009
特殊作業員	2.45	人			RTPC00001
普通作業員	3.56	人			RTPC00002
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	1.85	日			S9035 単第0-0047 表
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施工単価表

機-28\_バックホウ運転(賃料)  
クレーン付2.9t吊 山積0.45m3

S9035

単第0 -0047 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	28.00	L			TTPC00013
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t	1.33	供用日			KTPC00005
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=6 クレーン付2.9t吊_山積0.45m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=28 D=1.33	軽油消費量(L/日) 機械賃料数量(供用日/日)	

1.1 補修数量総括表

橋梁名：木地山橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	設 計 量 数	備 考	
橋梁保全工事	構造物補修工	ひびわれ補修工 低圧注入工法	低圧注入工法 (ひびわれ注入工)	エポキシ樹脂系3種 延べ延長	m	13.6	14		
				ひびわれ注入工 1構造物当り延べ延長	m	13.6	14		
				シーラ材 エポキシ樹脂系	kg	1.3	1.3	ロス率は積算システム上で計算(37%)	
				注入器 低圧注入器	個	55	55	設置間隔：250mm間隔	
		断面修復工 左官工法	左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	材料ロス	m <sup>3</sup>	0.18	-	ロス率は積算時に計算(18%)
					左官工法 1構造物当り延べ体積	m <sup>3</sup>	0.98	0.98	
					殻運搬	m <sup>3</sup>	-	-	運搬処理工にて計上
				殻処分	がれき類	m <sup>3</sup>	-	-	運搬処理工にて計上
						t	-	-	運搬処理工にて計上
		断面修復工 充填工法	充填工法	構造物取壊し	鉄筋構造物	m <sup>3</sup>	0.02	0.02	
				充填工法	無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.02	0.02	小規模無収縮モルタル工
				プライマー工		m <sup>2</sup>	0.2	0.2	
				型枠工	一般型枠 (普通型枠)	m <sup>2</sup>	0.05	0.1	
					一般型枠 (円形型枠)	m <sup>2</sup>	0.2	0.2	
				鉄筋	SD345 D13	kg	1	1	
				ケミカルアンカー	R-10N	箇所	4	4	
				コンクリート削孔工	コンクリート削孔機 (φ16 L=100)	孔	4	4	
				殻運搬	コンクリート(無筋)	m <sup>3</sup>	-	-	運搬処理工にて計上
				殻処分	コンクリート(無筋)	m <sup>3</sup>	-	-	運搬処理工にて計上
						t	-	-	運搬処理工にて計上
		橋梁補修工	表面保護工 表面含浸工 L-OSMO固化型KK相当品	下地処理	サンダーケレン	m <sup>2</sup>	291.3	291	
				含浸材塗布工	固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材	m <sup>2</sup>	291.3	291	
				含浸材	固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材	kg	96.1	96.1	標準使用量：0.30kg/m <sup>2</sup>
材料ロス	kg				8.7	-	ロス率：10%		

橋梁名：木地山橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	設計 数量	備考	
	舗装打換え工	舗装版切断工	舗装版切断	アスファルト舗装 t=15cm以下	m	84.6	85	車道部・歩道部	
			舗装版破碎工	舗装版破碎	アスファルト舗装 障害有り 厚4cm以下 積込有り	m <sup>2</sup>	36.0	36	
				舗装版破碎	アスファルト舗装 障害有り 厚10~15cm以下 積込有り	m <sup>2</sup>	12.0	12	
			殻運搬	舗装版破碎		m <sup>3</sup>	-	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	アスファルト殻		m <sup>3</sup>	-	-	運搬処理工にて計上
						t	-	-	運搬処理工にて計上
	舗装工	橋面防水工	橋面防水	橋面防水	塗膜系アスファルト加熱型防水層	m <sup>2</sup>	48.0	48	
				ドレーン材	導水テープ 3×30	m	33.7	-	
					材料ロス	m	1.7	-	ロス率：5%
					材料合計	m	35.4	35	
目地工			成型目地材 b=30mm・t=5mm	m	50.3	-			
			材料ロス	m	2.5	-	ロス率：5%		
			材料合計	m	52.8	53			
アスファルト舗装工		表層（車道・路肩部）	再生密粒度(13) t=12cm 瀝青材なし	m <sup>2</sup>	12.0	12	平均幅員 6.0m t=6cm×2層		
			再生密粒度(13) t=4cm 瀝青材なし	m <sup>2</sup>	24.0	24	平均幅員 6.0m		
			再生密粒度(13) t=3cm 瀝青材なし	m <sup>2</sup>	12.0	12	平均幅員 6.0m		
橋梁付属物工	伸縮部止水工	下地処理	遊間部清掃	m	25.7	25.7			
		目地材充填	目地材充填	ゴム状高弾性目地材 20×170mm	m	8.6	8.6		
			ゴム状高弾性目地材	kg	49.0	49.0	ロス率：20%含む		
			ゴム状高弾性目地材 20×70mm	m	8.6	8.6			
			ゴム状高弾性目地材	kg	20.2	20.2	ロス率：20%含む		
			ゴム状高弾性目地材 20×60mm	m	8.6	8.6			
			ゴム状高弾性目地材	kg	17.3	17.3	ロス率：20%含む		
	バックアップ材	ウレタンフォーム 20×40mm	m	25.7	25.7				
				ℓ	24.7	24.7	ロス率：20%含む		

橋梁名：木地山橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	設計 数量	備考	
	橋梁付属物工	排水装置補修工 塩化ビニル管	排水管流心延長		m	1.1	1		
			排水管	VP125A	m	1.2	1.2		
			塩ビ製TSフランジ	125A	個	1	1		
			ボルト・ナット	Bolt M8×25	本	3	3		
			コンクリートアンカーボルト設置工	打込み式あと施工アンカー M12	本	4	4		
	橋梁付属物工	排水柵取替工	既設排水柵撤去		基	8	8		
			補修工事ガス切断切削仕上工	SGP φ76.3	m	1.9	1.9	小規模補修工事ガス切断切削仕上工	
			コンクリートはつり	t=10cm	m <sup>2</sup>	0.4	0.4	t=7cm想定 V=0.03m <sup>3</sup>	
			排水柵装置		基	8	8		
			モルタル充填工	左官工法 セメントモルタル	m <sup>3</sup>	0.03	(0.03)	施工手間は断面修復工(充填)にて計上	
			殻運搬	コンクリート構造物	m <sup>3</sup>	-	-	運搬処理工にて計上	
			殻処分	がれき類	m <sup>3</sup>	-	-	運搬処理工にて計上	
				t	-	-	運搬処理工にて計上		
		水切り工	後付け型水切り材	EPDM系ゴム製水切り材 W25×H20mm	m	48.8	49.0		
			下地処理		m <sup>2</sup>	1.2	-	] 施工歩掛に含む	
			接着剤塗布	エポキシ樹脂系接着剤	m <sup>2</sup>	1.2	-		
		構造物撤去工	運搬処理工	殻運搬	コンクリート(無筋)	m <sup>3</sup>	1.0	1	
					舗装版破碎(アスファルト舗装)	m <sup>3</sup>	2.8	3	
	殻処分			コンクリート(無筋)	m <sup>3</sup>	1.0	-		
					t	2.4	2		
殻処分	アスファルト殻			m <sup>3</sup>	2.8	-			
				t	6.5	7			

橋梁名：木地山橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	設計 数量	備考	
	仮設工	仮設足場工	吊足場	TYPE A1 吊足場 桁高h<1.5	m <sup>2</sup>	140	140		
			床面シート張防護	床面シート張防護設置時	m <sup>2</sup>	140	140		
			朝顔	TYPE B 朝顔 (両側)	m <sup>2</sup>	111	111		
			朝顔	TYPE B 朝顔 (片側)	m <sup>2</sup>	29	29		
			防護工	TYPE B シート張防護工 (両側)	m <sup>2</sup>	111	111		
			防護工	TYPE B シート張防護工 (片側)	m <sup>2</sup>	29	29		
			片側朝顔防護足場	TYPE E シート張防護 片側施工	m <sup>2</sup>	12	12		
		土のう工	大型土のう	製作	バックホウ据付 6m以下	袋	13	13	
				設置	バックホウ据付 6m以下	袋	13	13	
				撤去	バックホウ据付 6m以下	袋	13	13	
			土材料	山土 CBR≥12	m <sup>3</sup>	13	13		
		残土処理工	残土運搬			m <sup>3</sup>	13	13	
			残土処理			m <sup>3</sup>	13	13	
	廃材処理工	廃プラスチック運搬			t	0.026	0.03		
		廃プラスチック処理			m <sup>3</sup>	0.074	0.07		
	仮排水工	高密度ポリエチレン管	φ700 ダブル管		m	16.0	16		

## 1.2 ひびわれ補修工

補修図（その1～8）より

### 1.2.1 低圧注入工法（ひびわれ注入工）

#### （1）延べ施工量

##### 1) エポキシ樹脂注入材3種

$$L = 8.90 + 3.60 + 1.05 = 13.55 \text{ m}$$
$$\Sigma L = 13.55 \text{ m}$$

#### （2）シール材

##### 1) エポキシ樹脂系

$$w = 30 \text{ mm (仮定)}$$

$$t = 2 \text{ mm (仮定)}$$

$$\gamma = 1.60 \text{ (仮定)}$$

$$W = 13.55 \times 0.030 \times 0.002 \times 1.60 \times 1000 = 1.30 \text{ kg}$$

#### （3）注入材

##### 3) エポキシ樹脂注入材3種

$$w = 0.52 \text{ mm (加重平均)}$$

$$t = 100 \text{ mm (加重平均)}$$

$$\gamma = 1.15 \text{ (仮定)}$$

$$W = 13.55 \times 0.00052 \times 0.100 \times 1150 \times 1.15 = 0.93 \text{ kg}$$

ロス率15%

#### （4）注入器（低圧注入器）

・設置間隔：250mm間隔

$$N = 13.55 / 0.25 = 55 \text{ 個}$$

1.2.2 ひびわれ数量表

番号	部 位	ひびわれ		深さ t (mm)	備 考
		w (mm)	L (m)		
I	横桁 (G2-G3)				
1		0.20	0.50	40	
	小計		0.50		注入：エポキシ3種
I	桁下面 (A1-P1)				
1		0.30	0.70	60	
2		0.30	0.80	60	
3		0.50	0.60	100	
4		0.20	0.90	40	
5		0.20	0.60	40	
6		0.20	0.40	40	
7		0.50	0.25	100	
	小計		4.25		注入：エポキシ3種
I	桁下面 (P1-A2)				
1		0.20	0.30	40	
2		0.45	0.60	90	
3		0.40	0.50	80	
4		0.30	0.20	60	
5		0.90	0.65	180	
6		0.20	0.05	40	
7		0.30	0.20	60	
8		0.55	0.60	110	
9		0.30	0.25	60	
10		0.20	0.15	40	
11		0.30	0.50	60	
12		0.20	0.30	40	
13		0.20	0.60	40	
14		0.20	0.30	40	
15		0.35	0.50	70	
16		0.20	0.55	40	
	小計		6.25		注入：エポキシ3種
I	防護柵 (A1-P1)				
1		2.00	0.30	350	
2		2.00	0.25	350	
	小計		0.55		注入：エポキシ3種
I	防護柵 (P1-A2)				
1		0.60	0.20	120	
2		0.80	1.00	160	
3		2.00	0.50	350	
4		0.60	0.30	120	
	小計		2.00		注入：エポキシ3種

番号	部 位	ひびわれ				深さ t (mm)	備 考
		w (mm)		L (m)			
w<0.2mm 合計延長		-		-			
0.2≦w<0.5mm 合計延長		幅 加重平均		8.40		深さ 加重 平均	
0.5≦w<1.0mm 合計延長		(注入工のみ)		3.60			
1.0≦w≦5.0mm 合計延長		0.52		1.05			
5.0mm< 合計延長		-		-		100	
		0.2≦w <0.5mm	0.5≦w <1.0mm	1.0≦w ≦5.0mm	5.0mm<w	合 計	
注入：エポキシ1種合計		-	-	-	-	-	
注入：エポキシ2種合計		-	-	-	-	-	
注入：エポキシ3種合計		8.90	3.60	1.05	-	13.55	
注入：セメント系合計		-	-	-	-	-	
注入：亜硝酸 + エポキシ3種合計		-	-	-	-	-	
注入：亜硝酸 + セメント系合計		-	-	-	-	-	
充填：ポリマーセメント系合計		-	-	-	-	-	
充填：可とう性エポキシ樹脂系合計		-	-	-	-	-	
充填：シーラント系合計		-	-	-	-	-	
合 計		8.90	3.60	1.05	-	13.55	

### 1.3 断面修復工（左官工法）

※断面修復深さは以下の通り設定した。

（上部工）鉄筋探査及びはつり調査結果より鉄筋表面までとし、40mm

（前面鉄筋のかぶりコンクリート平均深さ）とした。

（下部工）鉄筋探査等を行われていないため、50mmと仮定した。

#### 1.3.1 左官工法

##### （1）延べ施工量

##### 1) ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む

$$v1 = 0.982 = 0.982 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.982 \times \frac{0.18}{\text{ロス率18\%}} = 0.177 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.159 \text{ m}^3$$

#### 1.3.2 殻運搬（※ 運搬処理工にて計上）

##### （1）コンクリート構造物

$$V = 0.982 = 0.982 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

#### 1.3.3 殻処分（がれき類）（※ 運搬処理工にて計上）

$$V = 0.982 = 0.982 \text{ m}^3$$

$$W = 0.982 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 2.308 \text{ t}$$

1.3.4 左官工法 数量表

番号	部 位	形状・寸法 (m × m)	補修面積 (m <sup>2</sup> )	補修深さ (m)	塗布面積 (m <sup>2</sup> )	補修体積 (m <sup>3</sup> )	備 考
D	床版下面(A1-P1)						
1		0.30 × 0.15	0.045	0.040	0.081	0.0018	
2		0.90 × 0.30	0.270	0.040	0.366	0.0108	
3		0.25 × 0.15	0.038	0.040	0.070	0.0015	
4		0.30 × 0.30	0.090	0.040	0.138	0.0036	
5		0.35 × 0.20	0.070	0.040	0.114	0.0028	
6		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
7		0.10 × 0.15	0.015	0.040	0.035	0.0006	
8		0.30 × 0.15	0.045	0.040	0.081	0.0018	
9		0.15 × 0.10	0.015	0.040	0.035	0.0006	
10		0.20 × 0.20	0.040	0.040	0.072	0.0016	
11		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
12		0.30 × 0.20	0.060	0.040	0.100	0.0024	
	小計		0.721		1.165	0.0288	ケレン・防錆:有
D	床版下面(P1-A2)						
1		0.25 × 0.25	0.063	0.040	0.103	0.0025	
2		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
3		0.10 × 0.15	0.015	0.040	0.035	0.0006	
4		4.30 × 0.10	0.430	0.040	0.782	0.0172	
5		0.10 × 0.15	0.015	0.040	0.035	0.0006	
6		0.10 × 0.15	0.015	0.040	0.035	0.0006	
7		0.20 × 0.20	0.040	0.040	0.072	0.0016	
8		0.30 × 0.20	0.060	0.040	0.100	0.0024	
9		1.20 × 0.50	0.600	0.040	0.736	0.0240	
10		0.20 × 0.20	0.040	0.040	0.072	0.0016	
11		0.20 × 0.40	0.080	0.040	0.128	0.0032	
12		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
13		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
14		0.10 × 0.20	0.020	0.040	0.044	0.0008	
15		0.20 × 0.20	0.040	0.040	0.072	0.0016	
16		0.25 × 0.40	0.100	0.040	0.152	0.0040	
17		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
18		0.20 × 0.50	0.100	0.040	0.156	0.0040	
19		0.30 × 0.30	0.090	0.040	0.138	0.0036	
20		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
21		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
22		0.25 × 0.15	0.038	0.040	0.070	0.0015	
23		0.20 × 0.10	0.020	0.040	0.044	0.0008	
24		0.40 × 0.10	0.040	0.040	0.080	0.0016	
25		0.40 × 0.40	0.160	0.040	0.224	0.0064	
26		0.30 × 0.60	0.180	0.040	0.252	0.0072	
27		0.60 × 0.40	0.240	0.040	0.320	0.0096	
28		0.20 × 0.40	0.080	0.040	0.128	0.0032	
29		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
30		0.10 × 0.15	0.015	0.040	0.035	0.0006	
31		0.10 × 0.30	0.030	0.040	0.062	0.0012	
32		0.15 × 0.25	0.038	0.040	0.070	0.0015	
33		0.35 × 0.35	0.123	0.040	0.179	0.0049	
34		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
35		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	

番号	部 位	形状・寸法 (m × m)	補修面積 (m <sup>2</sup> )	補修深さ (m)	塗布面積 (m <sup>2</sup> )	補修体積 (m <sup>3</sup> )	備 考
36		0.10 × 0.20	0.020	0.040	0.044	0.0008	
37		0.10 × 0.20	0.020	0.040	0.044	0.0008	
38		0.15 × 0.20	0.030	0.040	0.058	0.0012	
39		0.25 × 0.20	0.050	0.040	0.086	0.0020	
40		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
41		0.15 × 0.50	0.075	0.040	0.127	0.0030	
42		0.15 × 0.30	0.045	0.040	0.081	0.0018	
43		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
44		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
45		0.25 × 0.30	0.075	0.040	0.119	0.0030	
46		0.40 × 0.50	0.200	0.040	0.272	0.0080	
47		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
48		0.10 × 0.25	0.025	0.040	0.053	0.0010	
49		0.20 × 0.40	0.080	0.040	0.128	0.0032	
50		0.10 × 0.30	0.030	0.040	0.062	0.0012	
51		0.15 × 0.35	0.053	0.040	0.093	0.0021	
52		0.50 × 0.45	0.225	0.040	0.301	0.0090	
53		0.20 × 0.20	0.040	0.040	0.072	0.0016	
54		0.50 × 0.10	0.050	0.040	0.098	0.0020	
55		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
56		0.15 × 0.20	0.030	0.040	0.058	0.0012	
57		0.15 × 0.10	0.015	0.040	0.035	0.0006	
58		0.50 × 0.30	0.150	0.040	0.214	0.0060	
59		1.50 × 0.20	0.300	0.040	0.436	0.0120	
60		0.50 × 0.65	0.325	0.040	0.417	0.0130	
61		0.30 × 0.20	0.060	0.040	0.100	0.0024	
62		0.20 × 0.30	0.060	0.040	0.100	0.0024	
63		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
64		0.20 × 0.20	0.040	0.040	0.072	0.0016	
	小計		4.872		7.668	0.1947	ケレン・防錆:有
D	桁下面(A1-P1)						
1		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
2		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
3		0.40 × 0.20	0.080	0.040	0.128	0.0032	
4		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
5		0.80 × 0.15	0.120	0.040	0.196	0.0048	
6		0.35 × 0.10	0.035	0.040	0.071	0.0014	
7		0.10 × 0.20	0.020	0.040	0.044	0.0008	
8		0.30 × 0.60	0.180	0.040	0.252	0.0072	
9		0.30 × 0.60	0.180	0.040	0.252	0.0072	
10		0.25 × 0.15	0.038	0.040	0.070	0.0015	
11		0.80 × 0.15	0.120	0.040	0.196	0.0048	
12		0.20 × 0.10	0.020	0.040	0.044	0.0008	
13		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
14		0.10 × 0.25	0.025	0.040	0.053	0.0010	
15		0.10 × 0.25	0.025	0.040	0.053	0.0010	
16		0.10 × 0.30	0.030	0.040	0.062	0.0012	
17		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
18		0.10 × 0.40	0.040	0.040	0.080	0.0016	
19		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
20		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	

番号	部 位	形状・寸法 (m × m)	補修面積 (m <sup>2</sup> )	補修深さ (m)	塗布面積 (m <sup>2</sup> )	補修体積 (m <sup>3</sup> )	備 考
21		0.60 × 0.10	0.060	0.040	0.116	0.0024	
22		0.25 × 0.25	0.063	0.040	0.103	0.0025	
23		0.50 × 0.15	0.075	0.040	0.127	0.0030	
24		0.50 × 0.30	0.150	0.040	0.214	0.0060	
25		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
26		0.20 × 0.15	0.030	0.040	0.058	0.0012	
27		0.20 × 0.35	0.070	0.040	0.114	0.0028	
28		0.10 × 0.15	0.015	0.040	0.035	0.0006	
	小計		1.495		2.539	0.0597	ケレン・防錆:有
D	桁下面(P1-A2)						
1		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
2		0.10 × 0.20	0.020	0.040	0.044	0.0008	
3		0.10 × 0.20	0.020	0.040	0.044	0.0008	
4		0.10 × 0.15	0.015	0.040	0.035	0.0006	
5		0.10 × 0.20	0.020	0.040	0.044	0.0008	
6		0.10 × 0.20	0.020	0.040	0.044	0.0008	
7		0.20 × 0.15	0.030	0.040	0.058	0.0012	
8		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
9		0.15 × 0.10	0.015	0.040	0.035	0.0006	
10		0.50 × 0.10	0.050	0.040	0.098	0.0020	
11		0.05 × 0.05	0.003	0.040	0.011	0.0001	
12		0.15 × 0.10	0.015	0.040	0.035	0.0006	
13		0.20 × 0.10	0.020	0.040	0.044	0.0008	
14		0.05 × 0.10	0.005	0.040	0.017	0.0002	
15		0.05 × 0.10	0.005	0.040	0.017	0.0002	
16		0.20 × 0.20	0.040	0.040	0.072	0.0016	
17		0.25 × 0.25	0.063	0.040	0.103	0.0025	
18		0.30 × 0.10	0.030	0.040	0.062	0.0012	
19		0.05 × 0.15	0.008	0.040	0.024	0.0003	
20		0.05 × 0.25	0.013	0.040	0.037	0.0005	
21		0.15 × 0.20	0.030	0.040	0.058	0.0012	
22		0.20 × 0.40	0.080	0.040	0.128	0.0032	
23		0.20 × 0.25	0.050	0.040	0.086	0.0020	
24		0.20 × 0.30	0.060	0.040	0.100	0.0024	
25		0.70 × 0.20	0.140	0.040	0.212	0.0056	
26		0.25 × 0.35	0.088	0.040	0.136	0.0035	
27		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
28		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
29		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
30		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
31		0.15 × 0.15	0.023	0.040	0.047	0.0009	
32		0.10 × 0.30	0.030	0.040	0.062	0.0012	
33		0.30 × 0.30	0.090	0.040	0.138	0.0036	
34		0.70 × 0.10	0.070	0.040	0.134	0.0028	
35		0.35 × 0.35	0.123	0.040	0.179	0.0049	
36		0.35 × 0.35	0.123	0.040	0.179	0.0049	
37		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	
38		0.10 × 0.10	0.010	0.040	0.026	0.0004	



## 1.4 断面修復工（充填工法）

補修図（その6）より

### 1.4.1 充填工法

（1） 充填工法 （無収縮モルタル）

構造物取壊し（鉄筋構造物）

$$V = 0.800 \times 0.200 \times 0.150 = 0.024 \text{ m}^3$$

（2） プライマー工

$$A = ( \pi \times 0.577 / 2 + 0.223 ) \times 0.200 = 0.226 \text{ m}^2$$

（3） 型枠工 （普通型枠）

$$A = 0.223 \times 0.200 = 0.045 \text{ m}^2$$

（円形型枠）

$$A = \pi \times 0.577 / 2 \times 0.200 = 0.181 \text{ m}^2$$

### 1.4.2 鉄筋

（1） SD345 D13

$$W = 1 = 1 \text{ kg}$$

### 1.4.3 ケミカルアンカー

（1） R-10N

$$N = 4 = 4 \text{ 箇所}$$

### 1.4.4 コンクリート削孔工 （※ 構造物取壊し工にて計上）

（1） 電動ハンマドリル 深さ30mm以上200mm未満

$$N = 4 = 4 \text{ 孔}$$

$$L = 0.100 \times 4 = 0.400 \text{ m}$$

#### 1.4.5 殻運搬

##### (1) コンクリート構造物

$$V = 0.024 = 0.024 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

#### 1.4.6 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.024 = 0.024 \text{ m}^3$$

$$W = 0.024 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.056 \text{ t}$$



## 1.5 表面保護工（表面含浸工）

補修図（その9-11）より

### 1.5.1 表面含浸工（固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材）

#### （1）下地処理（サンダーケレン）

$$A = 291.301 = 291.301 \text{ m}^2$$

#### （2）含浸材塗布工（固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材）

$$A = 291.301 = 291.301 \text{ m}^2$$

#### （3）含浸材（固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材）

$$w1 = 291.301 \times 0.30 \text{ kg/m}^2 = 87.390 \text{ kg}$$

標準使用量

$$w2 = 87.390 \times 0.10 = 8.739 \text{ kg}$$

ロス率10%

---

$$\Sigma W = 96.129 \text{ kg}$$



## 1.6 舗装版切断工

補修図（その12）より

### 1.6.1 舗装版切断（アスファルト舗装 t=15cm以下）

（1）車道部（A1-P1）（t=12cm, 4cm(想定)）

$$L = \begin{array}{r} 8.570 \times 2 \\ + 2.000 \times 4 \end{array} + 8.570 \times 2 = 42.280 \text{ m}$$

（2）車道部（P1-A2）（t=4cm, 3cm(想定)）

$$L = \begin{array}{r} 8.570 \times 2 \\ + 2.000 \times 4 \end{array} + 8.570 \times 2 = 42.280 \text{ m}$$

---

$$\Sigma L = 84.560 \text{ m}$$

## 1.7 舗装版破碎工

補修図（その12）より

### 1.7.1 舗装版破碎

(1) アスファルト舗装 障害あり 厚4cm以下 積込有り

P1・A2部

$$A = 6.000 \times 2.000 \times 3 = 36.000 \text{ m}^2$$

(2) アスファルト舗装 障害あり 厚10～15cm以下 積込有り

A1部

$$A = 6.000 \times 2.000 = 12.000 \text{ m}^2$$

### 1.7.2 殻運搬 (※ 運搬処理工にて計上)

(1) 舗装版破碎

$$V = 12.000 \times 0.120 + 12.000 \times 0.040 \times 2 + 12.000 \times 0.030 = 2.760 \text{ m}^3$$

### 1.7.3 殻処分 (がれき類) (※ 運搬処理工にて計上)

$$V = 2.760 = 2.760 \text{ m}^3$$

$$W = 2.760 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 6.486 \text{ t}$$

## 1.8 橋面防水工

防水・排水工詳細図 より

### 1.8.1 橋面防水

(1) 塗膜系アスファルト加熱型防水層

$$A = 6.000 \times 2.000 \times 4 = 48.000 \text{ m}^2$$

### 1.8.2 ドレーン材

(1) 導水テープ (3×30mm)

$$L1 = 8.415 \times 4 = 33.660 \text{ m}$$

材料ロス

$$L2 = 33.660 \times \underset{\text{ロス率5\%}}{0.05} = 1.683 \text{ m}$$

### 1.8.3 目地工

(1) 成型目地材 (b=30mm・t=5mm)

$$L1 = 8.570 \times 4 + 2.000 \times 8 = 50.280 \text{ m}$$

材料ロス

$$L2 = 50.280 \times \underset{\text{ロス率5\%}}{0.05} = 2.514 \text{ m}$$

## 1.9 アスファルト舗装工

防水・排水工詳細図 より

### 1.9.1 表層

(1) 車道・路肩部 (再生密粒度(13) t=12cm (平均) 瀝青材無し)

$$A = 6.000 \times 2.000 = 12.000 \text{ m}^2$$

(2) 車道・路肩部 (再生密粒度(13) t=4cm 瀝青材無し)

$$A = 6.000 \times 2.000 \times 2 = 24.000 \text{ m}^2$$

(3) 車道・路肩部 (再生密粒度(13) t=3cm 瀝青材無し)

$$A = 6.000 \times 2.000 = 12.000 \text{ m}^2$$

## 1.10 伸縮部止水工（目地材充填）

補修図（その13）より

### 1.10.1 下地処理（遊間部清掃）

$$L = 8.570 + 8.570 + 8.570 = 25.710 \text{ m}$$

### 1.10.2 目地材充填（ゴム状高弾性目地材）

#### （1）20×170mm

$$L1 = 8.570 = 8.570 \text{ m}$$

$$v1 = 8.570 \times 0.020 \times 0.170 \times \underset{\text{(比重)}}{1400} \times \underset{\text{ロス率20\%}}{1.20} = 48.95 \text{ kg}$$

#### （2）20×70mm

$$L2 = 8.570 = 8.570 \text{ m}$$

$$v2 = 8.570 \times 0.020 \times 0.070 \times \underset{\text{(比重)}}{1400} \times \underset{\text{ロス率20\%}}{1.20} = 20.16 \text{ kg}$$

#### （3）20×60mm

$$L3 = 8.570 = 8.570 \text{ m}$$

$$v3 = 8.570 \times 0.020 \times 0.060 \times \underset{\text{(比重)}}{1400} \times \underset{\text{ロス率20\%}}{1.20} = 17.28 \text{ kg}$$

### 1.10.3 バックアップ材（ウレタンフォーム）

#### （1）20×40mm

$$v1 = ( 8.570 + 8.570 + 8.570 ) \times 0.020 \times 0.040 \times \underset{\text{ℓ/m}^3}{1000} = 20.568 \text{ ℓ}$$

$$v2 = 20.568 \times \underset{\text{ロス率20\%}}{0.20} = 4.114 \text{ ℓ}$$

$$\underline{\underline{\Sigma V = 24.682 \text{ ℓ}}}$$

## 1.11 排水装置補修工（塩化ビニル管）

排水装置補修図より

### 1.11.1 排水管設置

#### （1）流心延長

$$L = 1.100 \times 1 = 1.100 \text{ m}$$

### 1.11.2 排水管（VP125A）

$$L = 1.170 \times 1 = 1.170 \text{ m}$$

### 1.11.3 塩ビ製TSフランジ（125A）

$$N = 1 = 1 \text{ 個}$$

### 1.11.4 ボルト・ナット

#### （1） Bolt（SUS）

##### 1） M8×25

$$N = 1 \times 3 = 3 \text{ 本}$$

### 1.11.5 コンクリートアンカーボルト設置工（打込み式あと施工アンカー M12）

$$N = 1 \times 4 = 4 \text{ 本}$$

## 1.12 排水柵取替工

排水柵取替工詳細図より

### 1.12.1 既設排水装置撤去

#### (1) 既設排水柵撤去

$$N = 8 = 8 \text{ 基}$$

#### (2) 補修工事ガス切断切削仕上工 (SGP $\phi 76.3$ )

$$L = \pi \times 0.0763 \times 8 = 1.918 \text{ m}$$

#### (3) コンクリートはつり (t=10cm) (※ 構造物取壊し工にて計上)

$$A = 0.150 \times 0.300 \times 8 = 0.360 \text{ m}^2$$

### 1.12.2 排水柵装置

$$N = 8 = 8 \text{ 基}$$

### 1.12.3 モルタル充填工 (左官工法 セメントモルタル)

$$v1 = 0.150 \times 0.300 \times 0.100 \times 8 = 0.036 \text{ m}^3$$

$$v2 = - \frac{1}{2} \times ( 0.195 \times 0.145 + \frac{0.179 \times 0.129}{\times 0.008 \times 8} ) = -0.002 \text{ m}^3$$

$$v3 = - \frac{1}{2} \times ( 0.181 + 0.179 ) \times 0.130 \times \frac{0.022}{\times 8} = -0.004 \text{ m}^3$$

$$v4 = - 0.291 \times 0.080 \times 0.005 \times 8 = -0.001 \text{ m}^3$$

$$v5 = - \frac{\pi}{4} \times 0.097^2 \times 0.065 \times 8 = -0.004 \text{ m}^3$$

---

$$\Sigma V = 0.025 \text{ m}^3$$

1.12.4 殻運搬 (※ 運搬処理工にて計上)

(1) コンクリート構造物

$$V = 0.150 \times 0.300 \times 0.100 \times 8 = 0.036 \text{ m}^3$$

1.12.5 殻処分 (がれき類) (※ 運搬処理工にて計上)

$$V = 0.036 = 0.036 \text{ m}^3$$

$$W = 0.036 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.085 \text{ t}$$

## 1.13 水切り工

補修図（その1～2）より

1.13.1 後付け型水切り材 （EPDM系ゴム製水切り材 W25×H20mm）

$$L = 12.200 \times 4 = 48.800 \text{ m}$$

1.13.2 下地処理

$$A = 48.800 \times 0.025 = 1.220 \text{ m}^2$$

1.13.3 接着剤塗布 （エポキシ樹脂系接着剤）

$$A = 48.800 \times 0.025 = 1.220 \text{ m}^2$$

## 1.15 運搬処理工

### 1.15.1 殻運搬

※ 運搬は、「運搬距離10km DID区間:無し」程度を想定。

#### (1) コンクリート構造物 コンクリート (無筋)

##### 1) 断面修復工 (左官工法)

$$V = 0.982 = 0.982 \text{ m}^3$$

##### 2) 断面修復工 (充填工法)

$$V = 0.024 = 0.024 \text{ m}^3$$

##### 3) 排水柵取替工

$$V = 0.036 = 0.036 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.042 \text{ m}^3$$

#### (2) 舗装版破碎 アスファルト舗装

##### 1) 舗装版破碎工

$$V = 2.760 = 2.760 \text{ m}^3$$

### 1.15.2 殻処分 (がれき類) コンクリート (無筋)

$$V = 1.042 = 1.042 \text{ m}^3$$

$$W = 1.042 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 2.449 \text{ t}$$

### 1.15.3 殻処分 (がれき類) アスファルト殻

$$V = 2.760 = 2.760 \text{ m}^3$$

$$W = 2.760 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 6.486 \text{ t}$$

## 1.16 仮設足場工

仮設足場図（参考図）より

### 1.16.1 吊足場

(1) 吊足場 (TYPE A1 吊足場 桁高 $h < 1.5$ )

$$a1 = \begin{array}{r} 6.800 \times 9.178 + 6.800 \times 2.095 + \\ 6.800 \times 5.049 \end{array} = 110.990 \text{ m}^2$$

$$a2 = \begin{array}{r} 6.800 \times 1.183 + 6.800 \times 2.000 + \\ 6.800 \times 1.147 \end{array} = 29.444 \text{ m}^2$$

---

$$\Sigma A = 140.434 \text{ m}^2$$

(2) 床面シート張防護 (床面シート張防護設置時)

$$A = 140.434 = 140.434 \text{ m}^2$$

(3) 朝顔 (TYPE B 朝顔(両側))

$$A = 110.990 = 110.990 \text{ m}^2$$

(4) 朝顔 (TYPE B 朝顔(片側))

$$A = 29.444 = 29.444 \text{ m}^2$$

(5) 防護工 (TYPE B シート張防護工(両側))

$$A = 110.990 = 110.990 \text{ m}^2$$

(6) 防護工 (TYPE B シート張防護工(片側))

$$A = 29.444 = 29.444 \text{ m}^2$$

### 1.16.2 片側朝顔防護足場 (TYPE E シート+板張防護 片側施工)

$$A = 2.000 \times (1.250 + 0.8) \times 3 = 12.300 \text{ m}^2$$

## 1.17 土のう工

仮設計画図 より

### 1.17.1 大型土のう

(1) 製作 (バックホウ据付 6m以下)

$$N = 13 = 13 \text{ 袋}$$

(2) 設置 (バックホウ据付 6m以下)

$$N = 13 = 13 \text{ 袋}$$

(3) 撤去 (バックホウ据付 6m以下)

$$N = 13 = 13 \text{ 袋}$$

### 1.17.2 土材料

(1) 山土 (CBR $\geq$ 12)

$$V = 13 \times 1.0 \text{ m}^3/\text{袋} = 13.0 \text{ m}^3$$

### 1.17.3 残土処理工

(1) 残土運搬・処理

$$V = 13.0 \text{ m}^3$$

### 1.17.4 廃材処理工

(1) 廃プラスチック運搬運搬・処理

$$W = 13 \text{ 袋} \times 2 \text{ kg} = 0.026 \text{ t}$$
$$V = 0.026 \div 0.35 = 0.074 \text{ m}^3$$

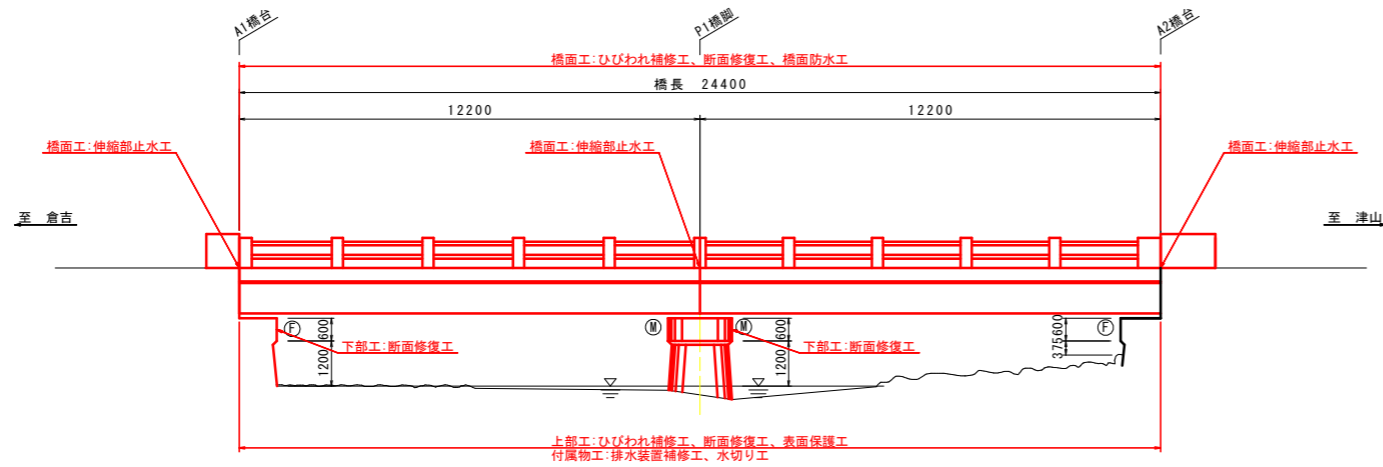
### 1.17.5 仮排水工

(1) 高密度ポリエチレン管 ( $\phi$ 700ダブル管)

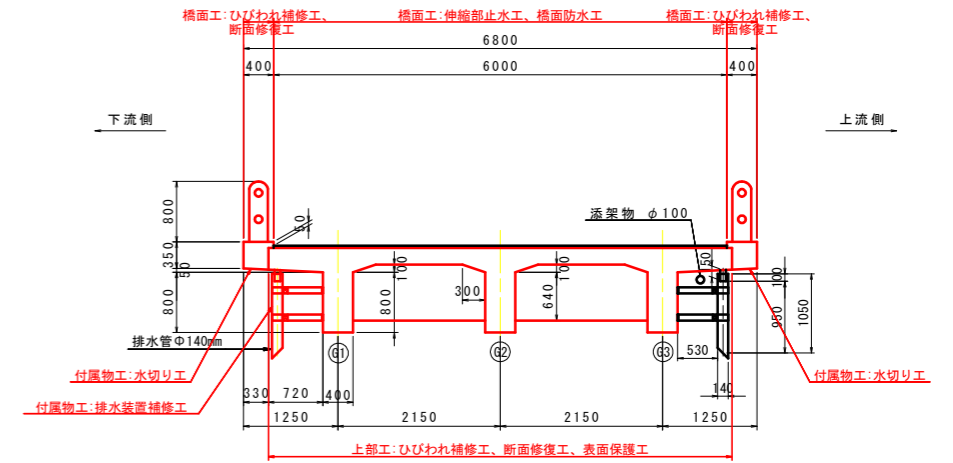
$$L = 4.0 \times 4 = 16.0 \text{ m}$$

# 木地山橋 補修一般図

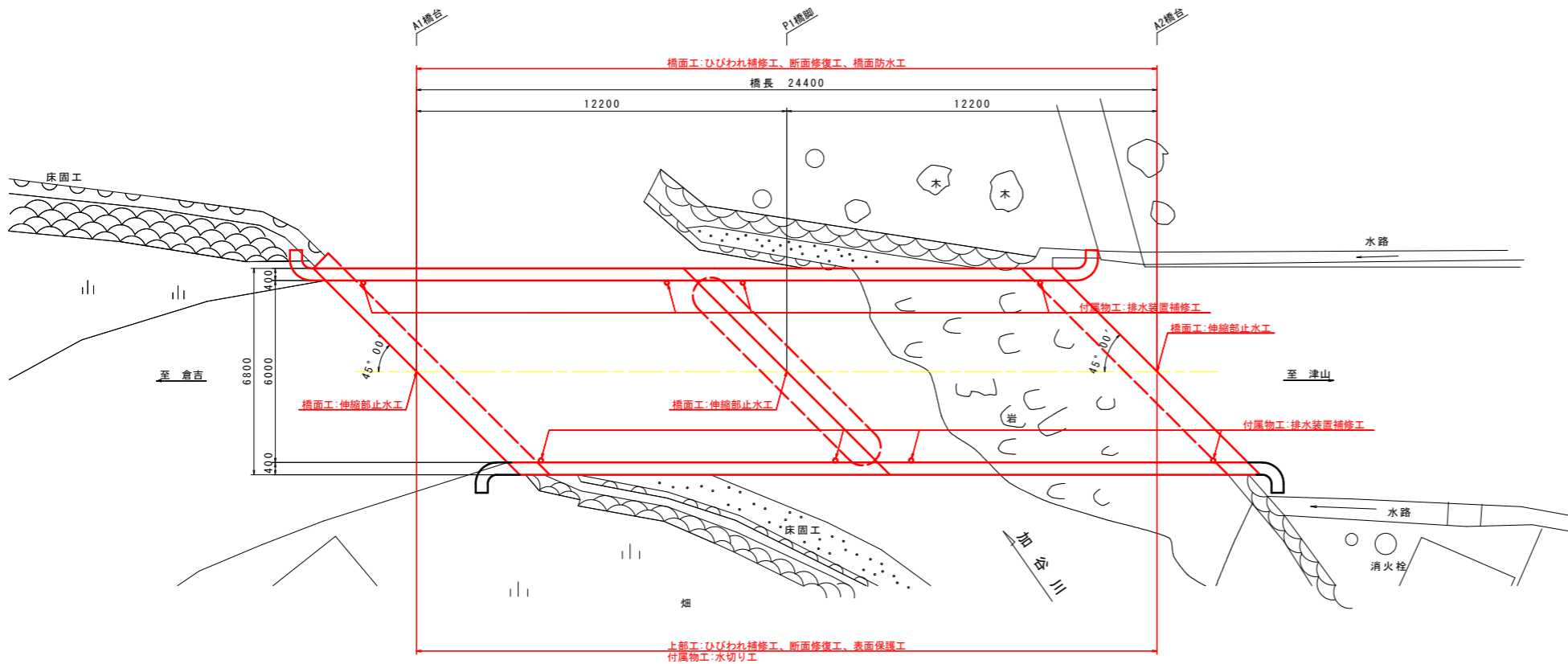
側面図 S=1:100



上部工断面図 S=1:50  
A1橋台側



平面図 S=1:100



対策工法一覧表

伸縮部止水工
橋面防水工
排水装置補修工
ひびわれ補修工
断面修復工
表面保護工
水切り工
仮設足場工
吊足場
片側朝顔防護足場
土のう工
仮排水工

設計条件

路線名	木地山線	
架設年次	昭和32年(橋齢:66年)※定期点検調査より	
橋長	24.400m	
全幅員	6.800m	
有効幅員	6.000m	
斜角	45° 00' 00"	
交差物件	加谷川	
形式	上部工	2径間単純RCT桁
	下部工	橋台 重力式橋台(推定) 橋脚 壁式橋脚(小判)
	基礎工	直接基礎
適用基準	鋼道路橋設計示方書案(昭14) ※推定	

木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修一般図		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 18	葉中の内	1
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

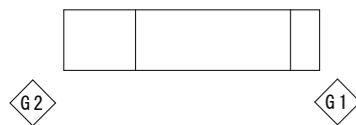
# 木地山橋 補修図 (その1)

S=1:40

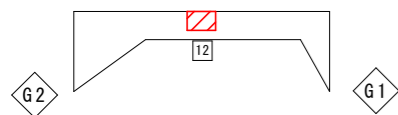
第1径間 (A1橋台~P1橋脚)  
床版・横桁

平面図

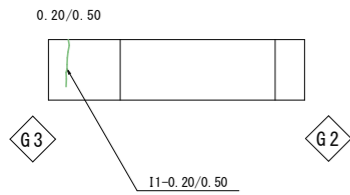
横桁正面図 (G1・G2間)  
(A1支点横桁)



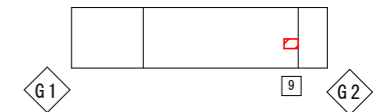
横桁下面図 (G1・G2間)  
(A1支点横桁)



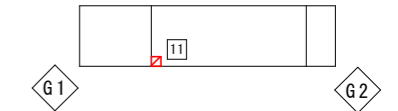
横桁正面図 (G2・G3間)  
(A1支点横桁)



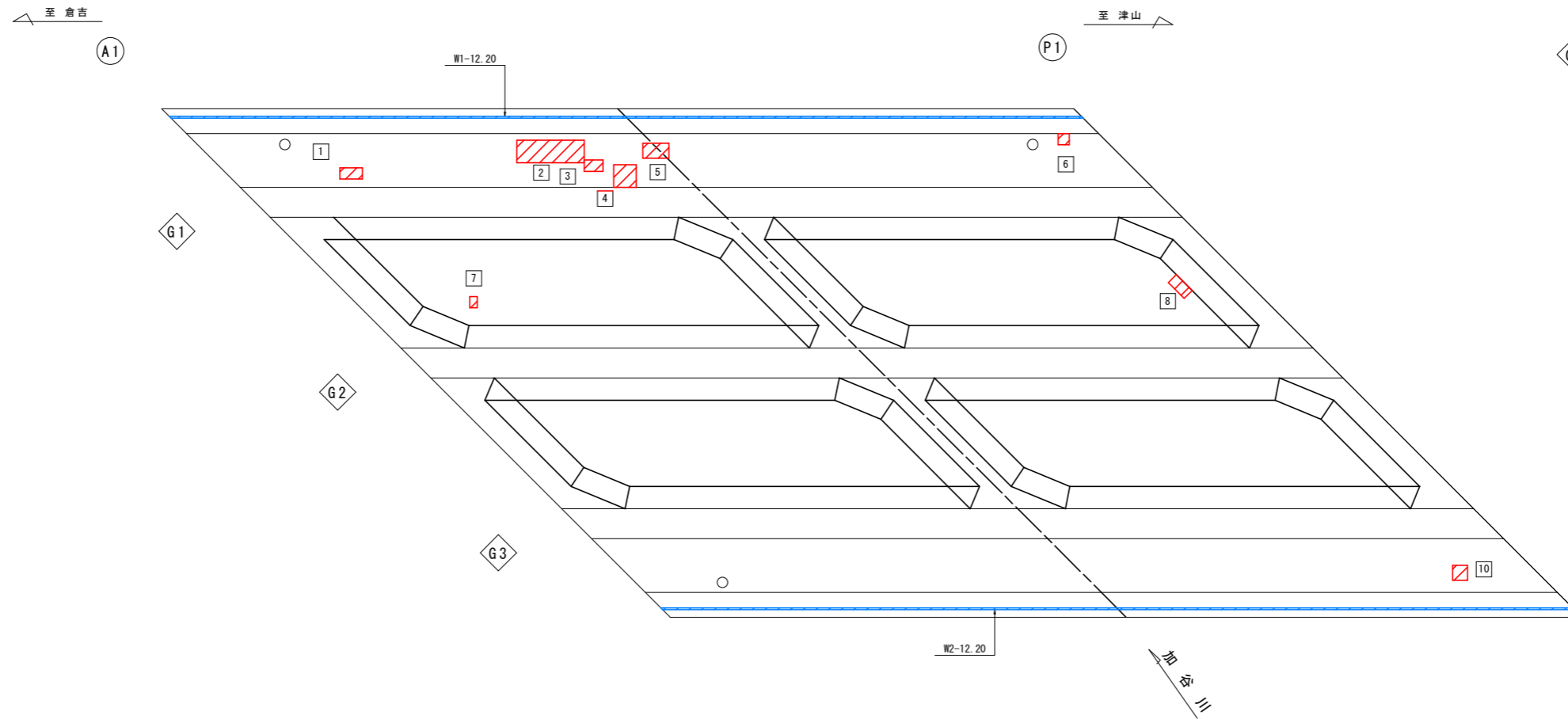
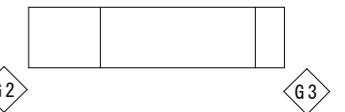
横桁正面図 (G1・G2間)  
(中央部横桁: A1側)



横桁正面図 (G1・G2間)  
(P1支点横桁: A1側)



横桁正面図 (G2・G3間)  
(P1支点横桁: A1側)



断面修復数量表 (D)

No	横 (m)	縦 (m)
1	0.30	0.15
2	0.90	0.30
3	0.25	0.15
4	0.30	0.30
5	0.35	0.20
6	0.15	0.15
7	0.10	0.15
8	0.30	0.15
9	0.15	0.10
10	0.20	0.20
11	0.10	0.10
12	0.30	0.20

## 凡例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
D	断面修復工(左官工法)
W	水切り工
10-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅
W0-0.00	補修工法 補修番号-補修延長

- ※ 本図面は、架橋当時の図面および現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

## 木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その1)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm, m
図号	全 18	業中の内	2
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

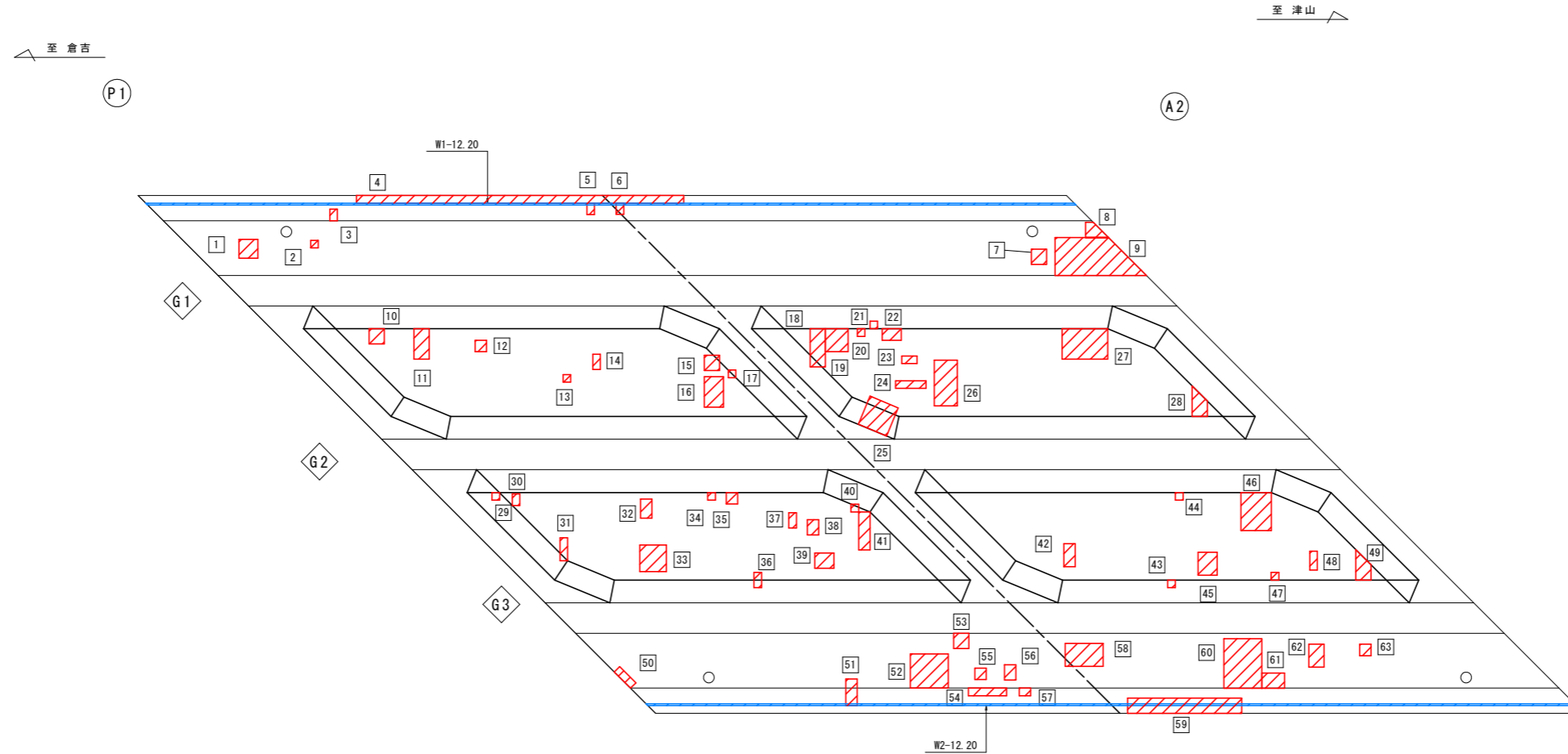
# 木地山橋 補修図 (その2)

S=1:40

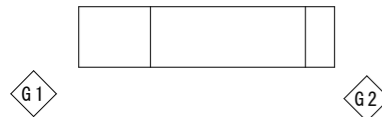
第2径間 (P1橋脚~A2橋台)

床版・横桁

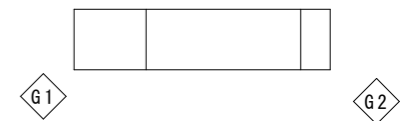
平面図



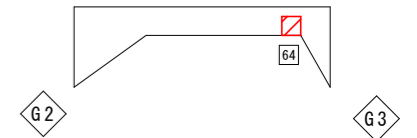
横桁正面図 (G1・G2間)  
(P1支点横桁: A2側)



横桁正面図 (G1・G2間)  
(A2支点横桁)



横桁下面図 (G2・G3間)  
(A2支点横桁)



断面修復数量表 (D)

No	横 (m)	縦 (m)	No	横 (m)	縦 (m)	No	横 (m)	縦 (m)	No	横 (m)	縦 (m)
1	0.25	0.25	21	0.10	0.10	41	0.15	0.50	61	0.30	0.20
2	0.10	0.10	22	0.25	0.15	42	0.15	0.30	62	0.20	0.30
3	0.10	0.15	23	0.20	0.10	43	0.10	0.10	63	0.15	0.15
4	4.30	0.10	24	0.40	0.10	44	0.10	0.10	64	0.20	0.20
5	0.10	0.15	25	0.40	0.40	45	0.25	0.30			
6	0.10	0.15	26	0.30	0.60	46	0.40	0.50			
7	0.20	0.20	27	0.60	0.40	47	0.10	0.10			
8	0.30	0.20	28	0.20	0.40	48	0.10	0.25			
9	1.20	0.50	29	0.10	0.10	49	0.20	0.40			
10	0.20	0.20	30	0.10	0.15	50	0.10	0.30			
11	0.20	0.40	31	0.10	0.30	51	0.15	0.35			
12	0.15	0.15	32	0.15	0.25	52	0.50	0.45			
13	0.10	0.10	33	0.35	0.35	53	0.20	0.20			
14	0.10	0.20	34	0.10	0.10	54	0.50	0.10			
15	0.20	0.20	35	0.15	0.15	55	0.15	0.15			
16	0.25	0.40	36	0.10	0.20	56	0.15	0.20			
17	0.10	0.10	37	0.10	0.20	57	0.15	0.10			
18	0.20	0.50	38	0.15	0.20	58	0.50	0.30			
19	0.30	0.30	39	0.25	0.20	59	1.50	0.20			
20	0.10	0.10	40	0.10	0.10	60	0.50	0.65			

加谷川

## 凡例

補修工法	
D	断面修復工 (左官工法)
W	水切り工
D0-0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修縦	
W0-0.00 補修工法 補修番号-補修延長	

- ※ 本図面は、架橋当時の図面および現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

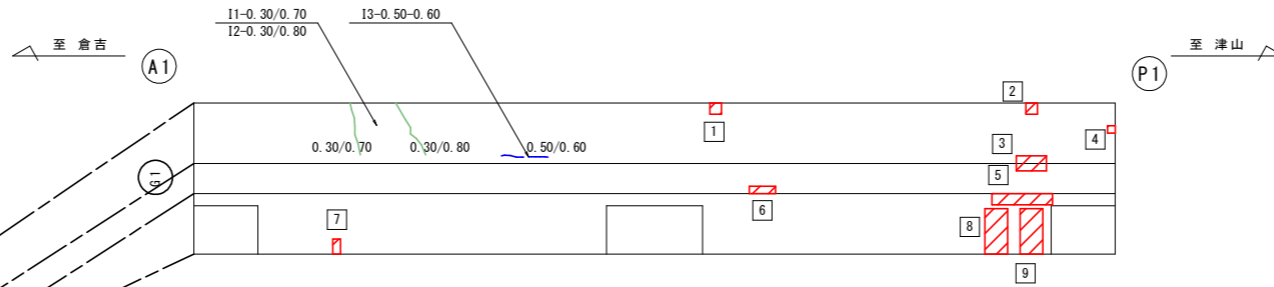
## 木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その2)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm, m
図号	全 18	業中の内	3
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

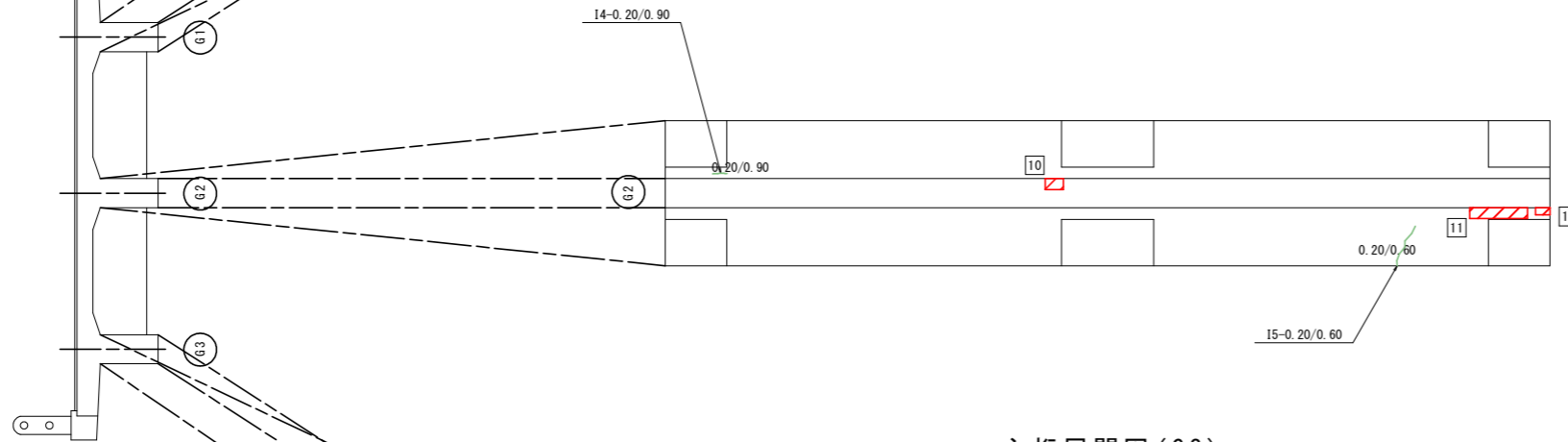
木地山橋 補修図 (その3) S=1:50

第1径間 (A1橋台~P1橋脚)  
主桁

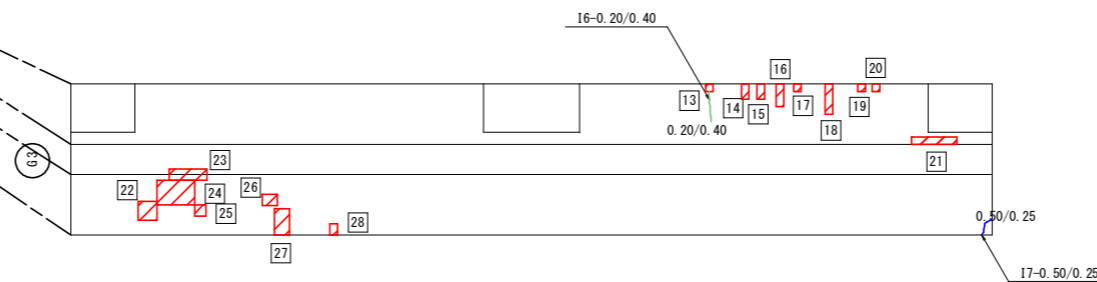
主桁展開図 (G1)



主桁展開図 (G2)



主桁展開図 (G3)



断面図

下流側

上流側

断面修復数量表 (D)

No	横 (m)	縦 (m)	No	横 (m)	縦 (m)
1	0.15	0.15	21	0.60	0.10
2	0.15	0.15	22	0.25	0.25
3	0.40	0.20	23	0.50	0.15
4	0.10	0.10	24	0.50	0.30
5	0.80	0.15	25	0.15	0.15
6	0.35	0.10	26	0.20	0.15
7	0.10	0.20	27	0.20	0.35
8	0.30	0.60	28	0.10	0.15
9	0.30	0.60			
10	0.25	0.15			
11	0.80	0.15			
12	0.20	0.10			
13	0.10	0.10			
14	0.10	0.25			
15	0.10	0.25			
16	0.10	0.30			
17	0.10	0.10			
18	0.10	0.40			
19	0.10	0.10			
20	0.10	0.10			

数量表

凡例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
I	ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
D	断面修復工(左官工法)
10-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、架橋当時の図面および現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

木地山橋

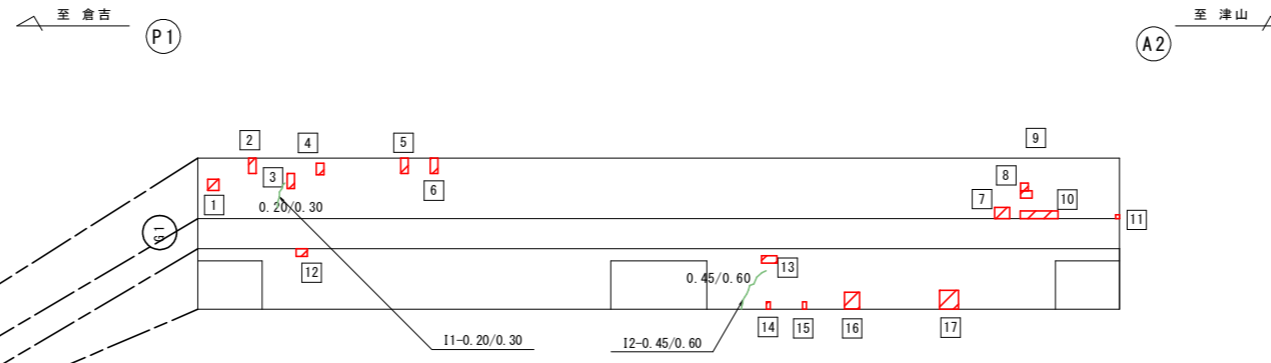
路線名	木地山線		
木地山橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その3)		
位置	東伯郡	三朝町	木地山 地内
縮尺	図示	単位	mm, m
図号	全 18	業中の内	4
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

# 木地山橋 補修図 (その4)

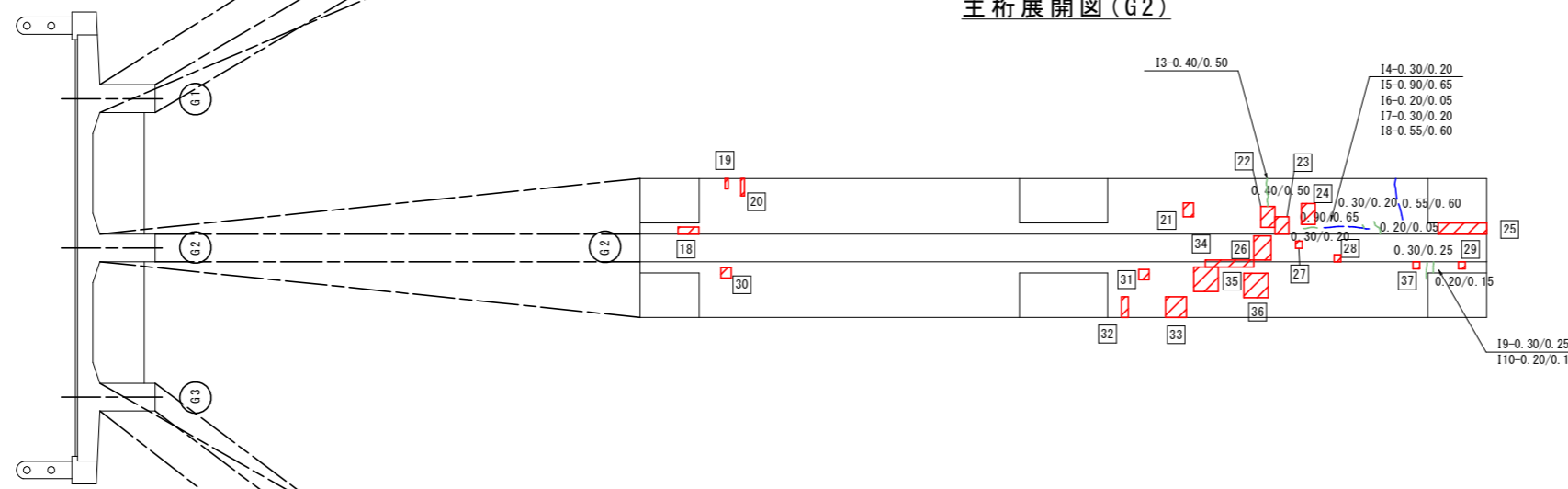
S=1:50

## 第2径間 (P1橋脚~A2橋台) 主桁

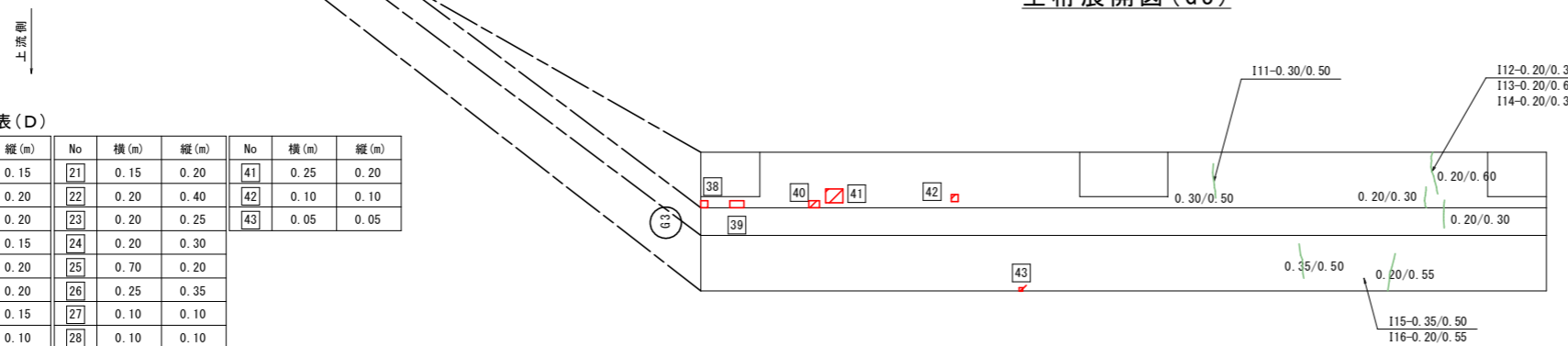
主桁展開図 (G1)



主桁展開図 (G2)



主桁展開図 (G3)



断面修復数量表 (D)

No	横 (m)	縦 (m)	No	横 (m)	縦 (m)	No	横 (m)	縦 (m)
1	0.15	0.15	21	0.15	0.20	41	0.25	0.20
2	0.10	0.20	22	0.20	0.40	42	0.10	0.10
3	0.10	0.20	23	0.20	0.25	43	0.05	0.05
4	0.10	0.15	24	0.20	0.30			
5	0.10	0.20	25	0.70	0.20			
6	0.10	0.20	26	0.25	0.35			
7	0.20	0.15	27	0.10	0.10			
8	0.10	0.10	28	0.10	0.10			
9	0.15	0.10	29	0.10	0.10			
10	0.50	0.10	30	0.15	0.15			
11	0.05	0.05	31	0.15	0.15			
12	0.15	0.10	32	0.10	0.30			
13	0.20	0.10	33	0.30	0.30			
14	0.05	0.10	34	0.70	0.10			
15	0.05	0.10	35	0.35	0.35			
16	0.20	0.20	36	0.35	0.35			
17	0.25	0.25	37	0.10	0.10			
18	0.30	0.10	38	0.10	0.10			
19	0.05	0.15	39	0.20	0.10			
20	0.05	0.25	40	0.15	0.10			

### 凡例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
I	ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
D	断面修復工(左官工法)
10-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、架橋当時の図面および現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

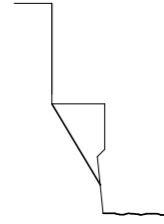
### 木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その4)		
位置	東伯郡	三朝町	木地山 地内
縮尺	図示	単位	mm, m
図号	全 18	業中の内	5
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

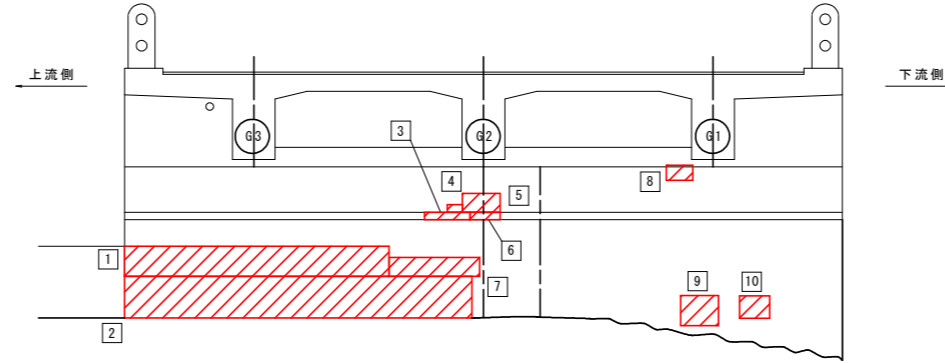
木地山橋 補修図 (その5) S=1:50

A1・A2橋台

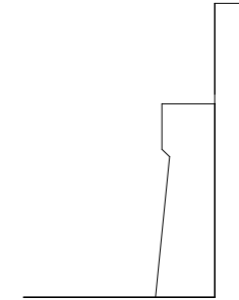
側面図  
(上流側)



正面図  
(A1橋台)



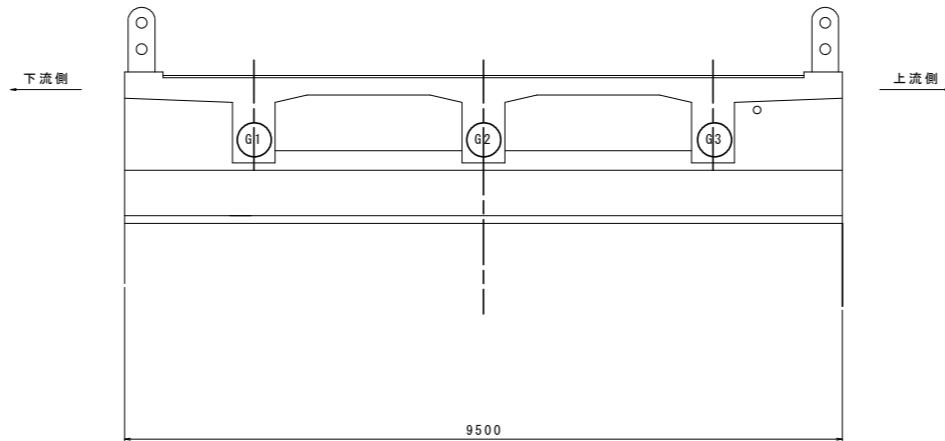
側面図  
(下流側)



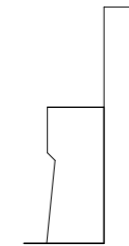
側面図  
(下流側)



正面図  
(A2橋台)




側面図  
(上流側)



断面修復数量表 (D)

No	横 (m)	縦 (m)
1	3.50	0.40
2	4.60	0.55
3	0.60	0.10
4	0.20	0.10
5	0.50	0.25
6	0.40	0.10
7	1.20	0.25
8	0.35	0.20
9	0.50	0.40
10	0.40	0.30

凡例

補修工法	
D	 断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修縦

- ※ 本図面は、架橋当時の図面および現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

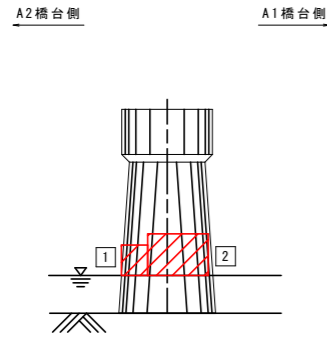
木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その5)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm, m
図号	全 18	業中の内	6
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

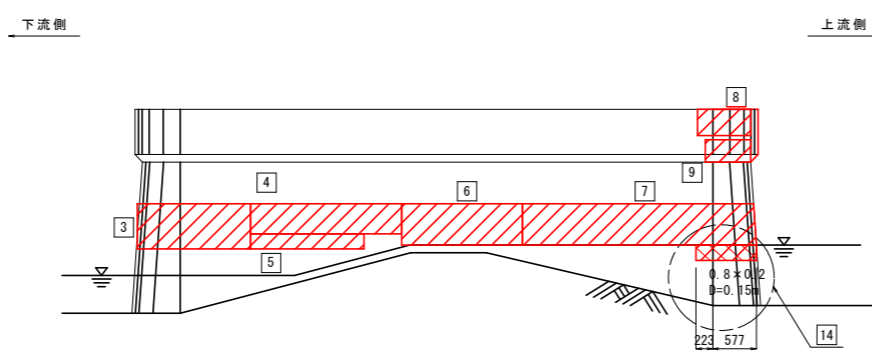
# 木地山橋 補修図 (その6) S=1:50

## P1橋脚

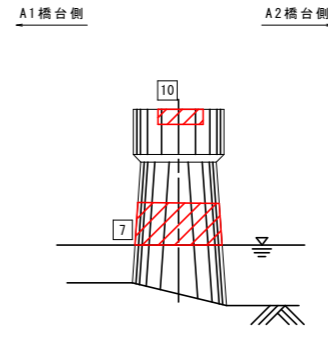
側面図  
(下流側)



正面図  
(A1橋台側)

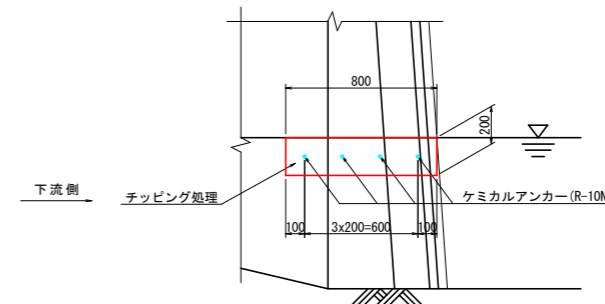


側面図  
(上流側)

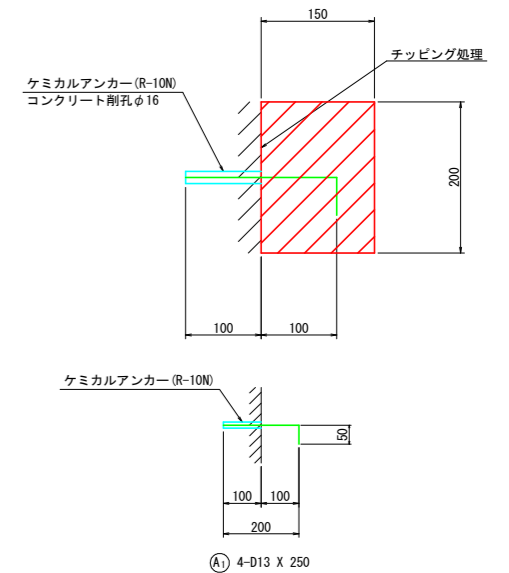


### 断面修復工(充填工法), 鉄筋挿入工

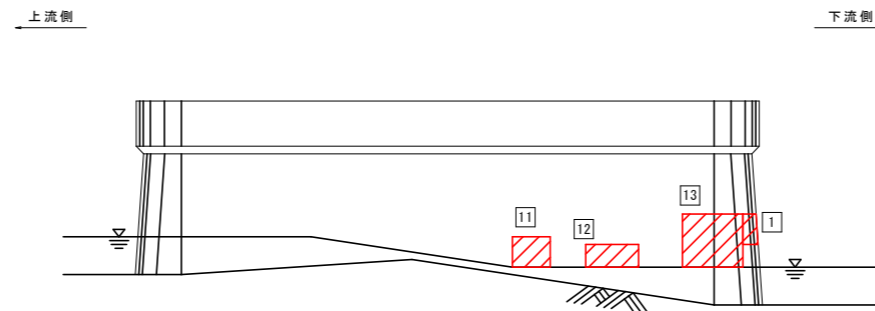
正面図 S=1:20



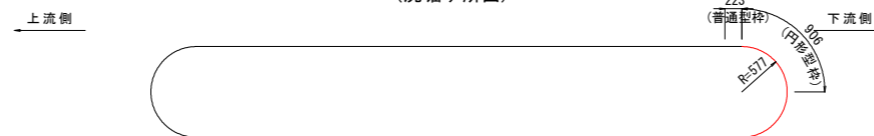
側面図 S=1:5



正面図  
(A2橋台側)



平面図  
(洗堀ヶ所面)



断面修復数量表(D)

No	横(m)	縦(m)
1	0.35	0.40
2	0.80	0.50
3	1.50	0.60
4	2.00	0.40
5	1.50	0.20
6	1.60	0.55
7	4.00	0.55
8	0.70	0.35
9	0.60	0.35
10	0.60	0.20
11	0.50	0.40
12	0.70	0.30
13	0.80	0.70
14	0.80	0.20

### 鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A1	D13	250	4	0.995	0.25	1	(1橋当り)
							1
SD345							
合計 D13				1 kg			
総質量				1 kg			
コンクリート削孔(φ16)				4箇所			
ケミカルアンカー(R-10N)				4箇所			

### 凡例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
DO-0.00x0.00	補修工法 補修番号 補修幅x補修縦

- ※ 本図面は、架橋当時の図面および現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

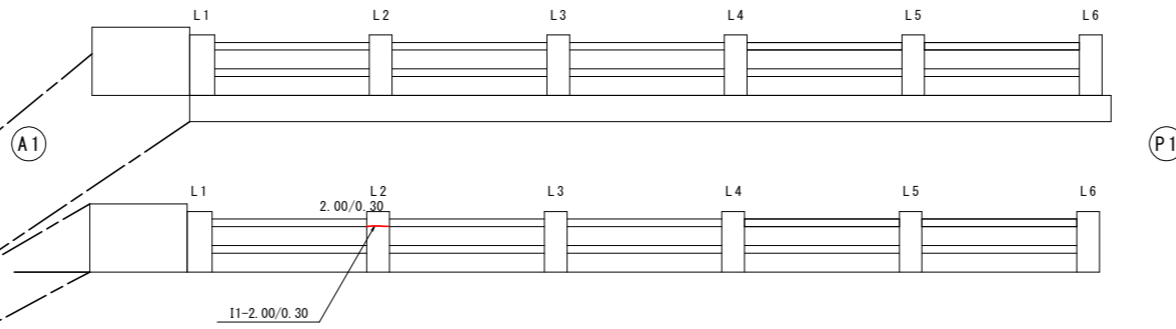
### 木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その6)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm, m
図号	全 18	業中の内	7
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

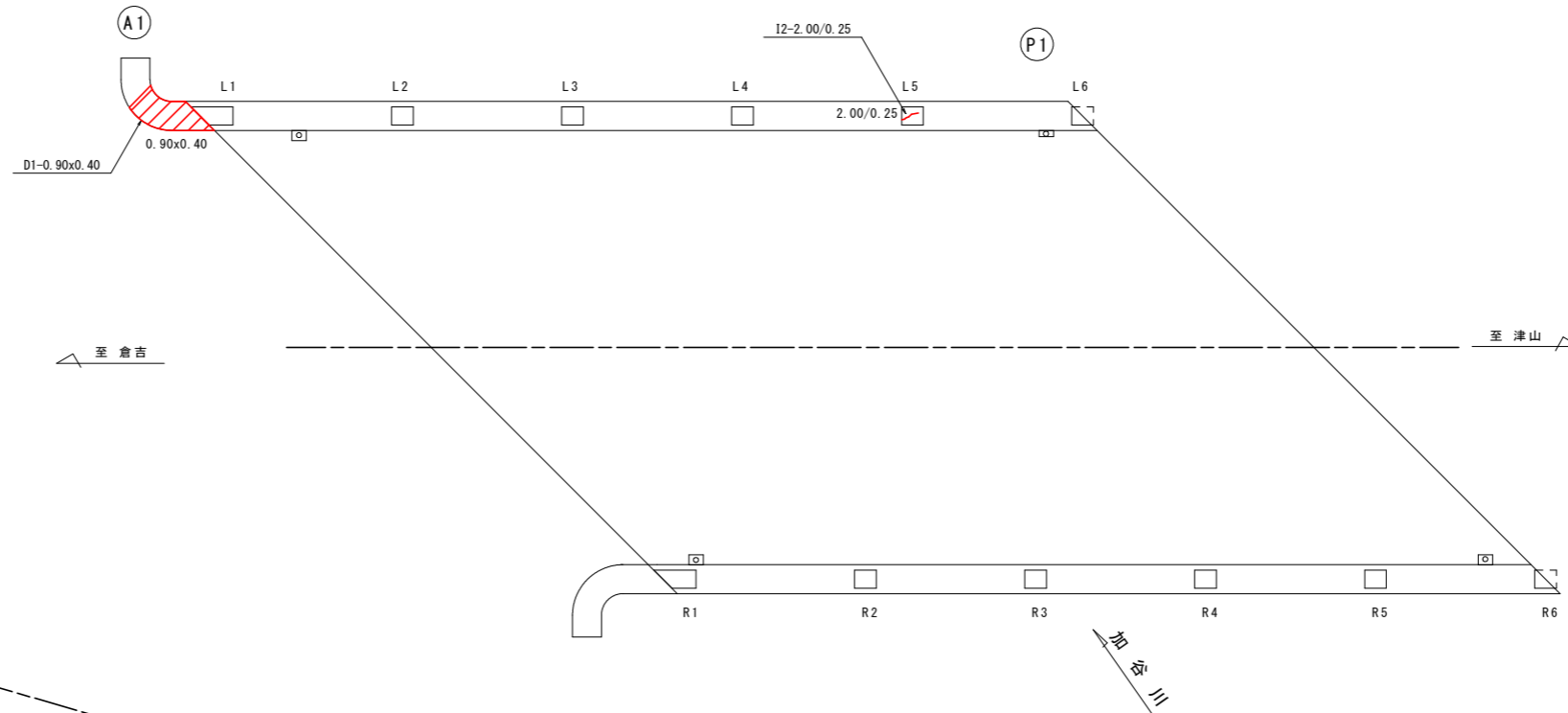
木地山橋 補修図 (その7) S=1:50

第1径間 (A1橋台~P1橋脚)  
橋面・地覆 (側面)・防護柵

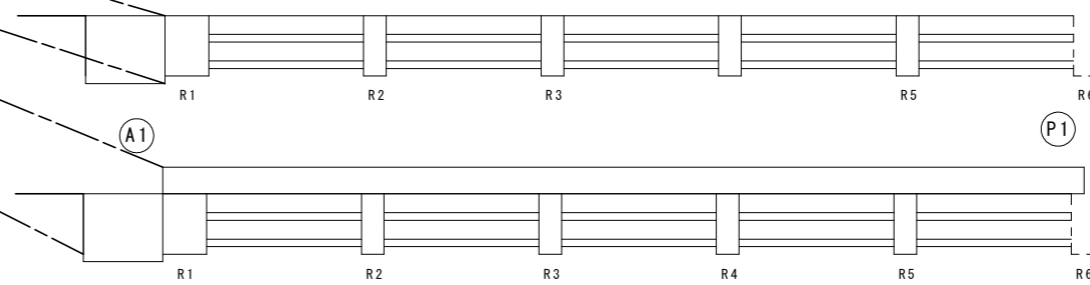
側面図  
(下流側)



平面図



側面図  
(上流側)



数量表

断面図 S=1:50

下流側

上流側

凡例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
D	断面修復工(左官工法)
10-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
00-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、架橋当時の図面および現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

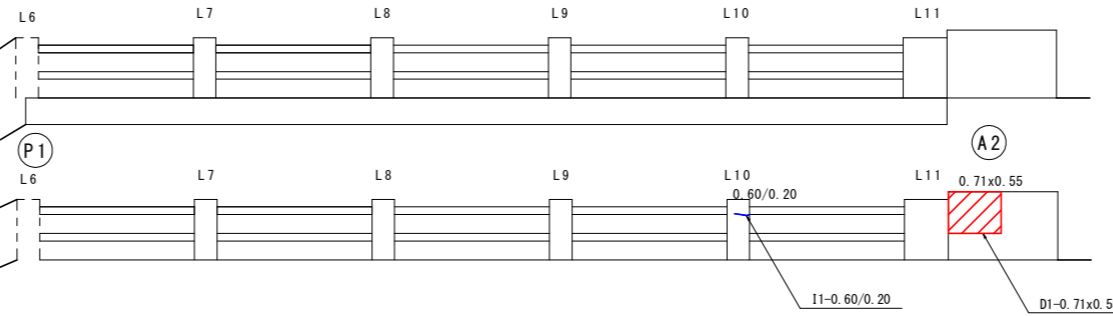
木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その7)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm、m
図号	全 18	業中の内	8
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

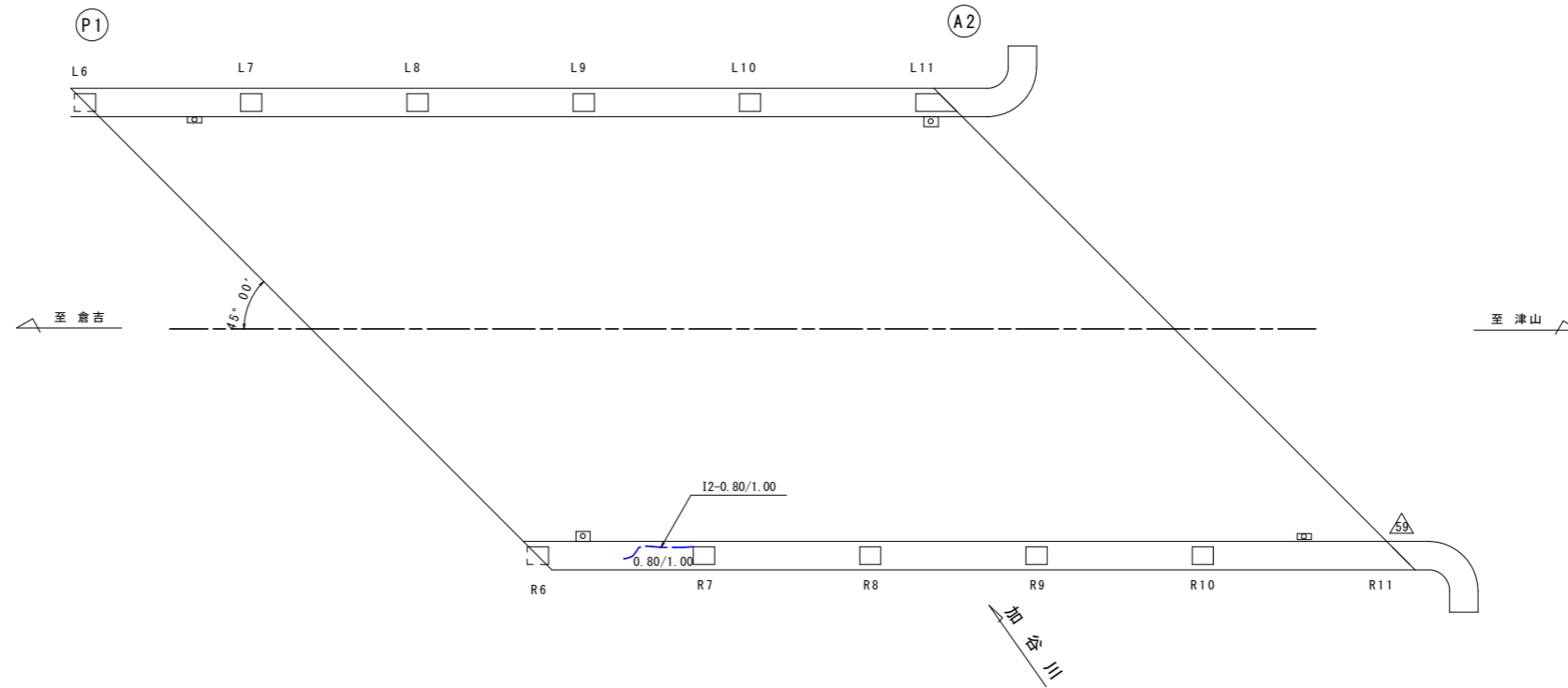
木地山橋 補修図 (その8) S=1:50

第2径間 (P1橋脚~A2橋台)  
橋面・地覆 (側面) ・防護柵

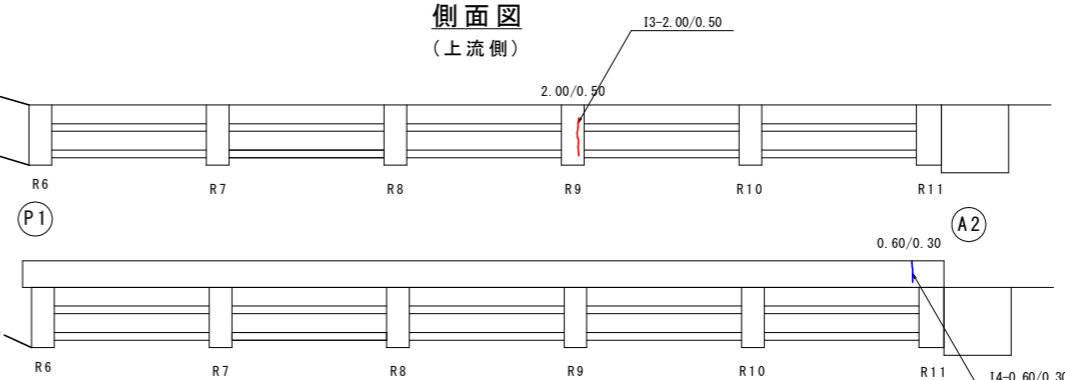
側面図  
(下流側)



平面図



側面図  
(上流側)



断面図 S=1:50

下流側

上流側

凡例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.5mm ≤ W < 1.0mm)
D	ひびわれ注入工 (1.0mm ≤ W ≤ 5.0mm)
	断面修復工 (左官工法)
10-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
00-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、架橋当時の図面および現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

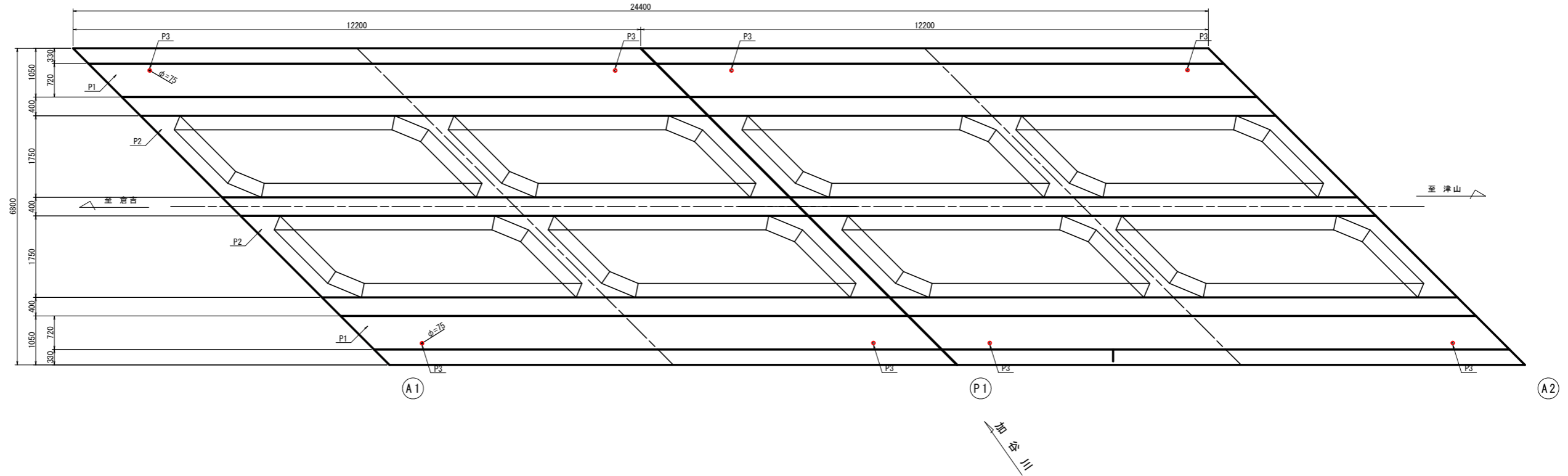
木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その8)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm、m
図号	全 18	業中の内	9
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

# 木地山橋 補修図 (その9)

床版・横桁  
表面保護工  
平面図

床版平面図(投影図) S=1:50



横桁正面図(G1・G2間)  
(起点側横桁)

S=1:40

横桁正面図(G2・G3間)  
(起点側横桁)

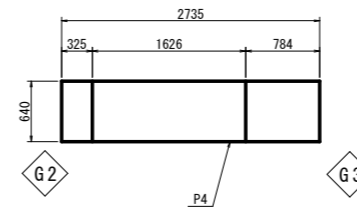
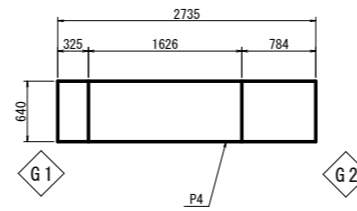
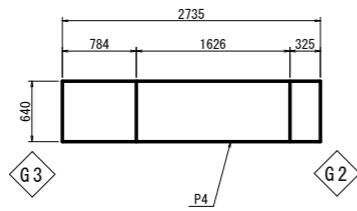
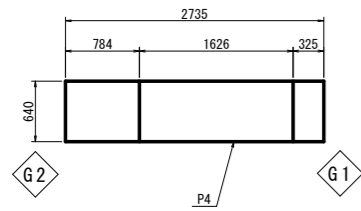
S=1:40

横桁正面図(G1・G2間)  
(終点側横桁)

S=1:40

横桁正面図(G2・G3間)  
(終点側横桁)

S=1:40



## 凡例

P	<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	表面処理工
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 表面保護材は固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m<sup>2</sup>以上とすること。
- ※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

## 木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その9)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm、m
図号	全 18	業中の内	10
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

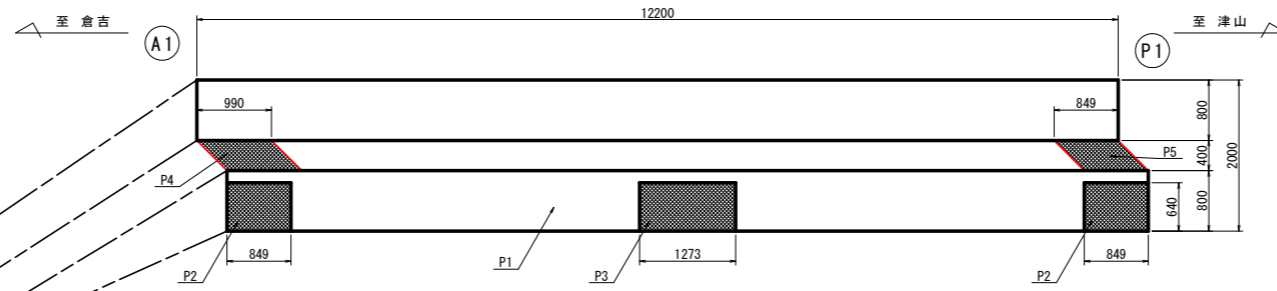
木地山橋 補修図 (その10) S=1:50

第1径間 (A1橋台~P1橋脚)

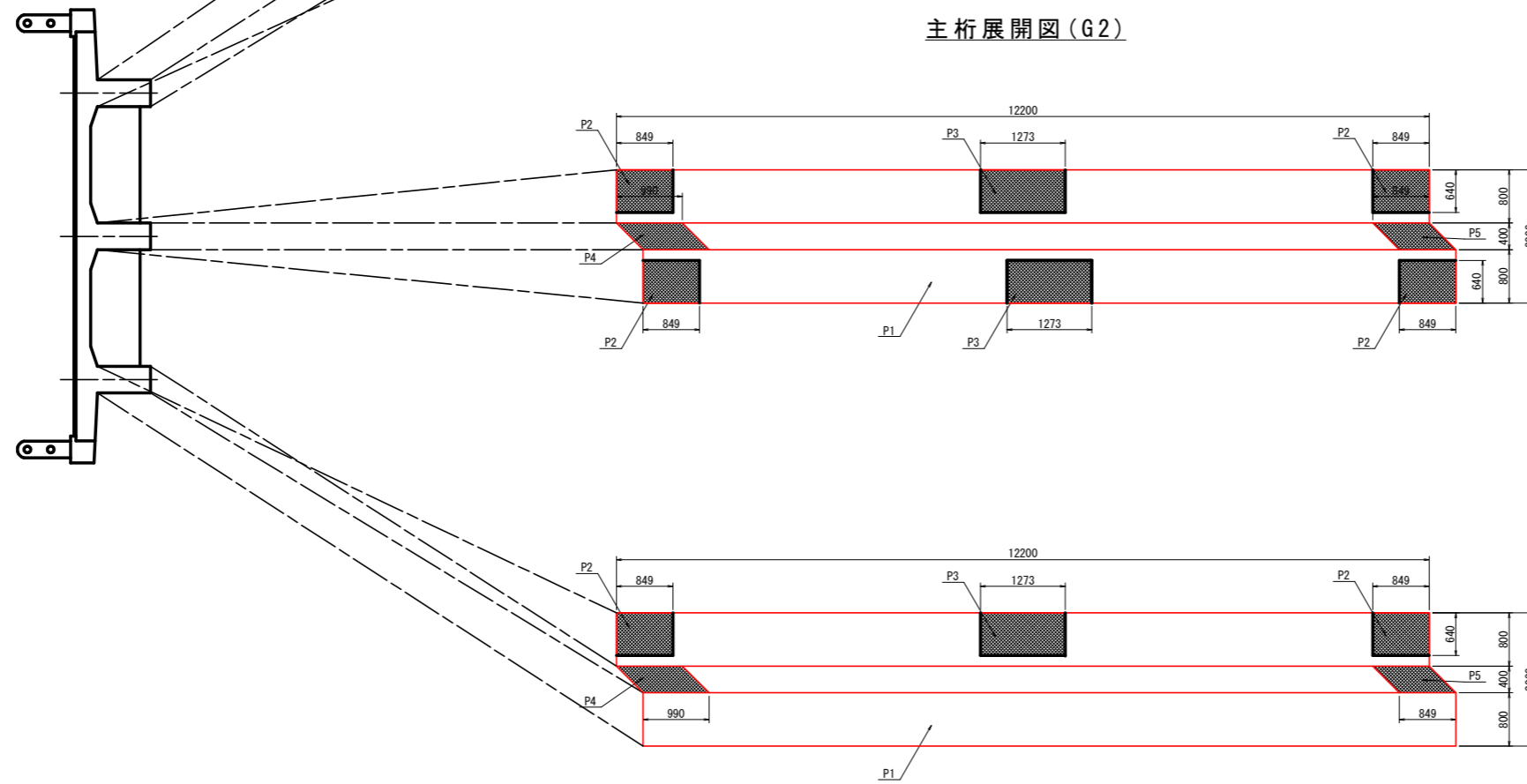
主桁

表面保護工

主桁展開図 (G1)



主桁展開図 (G2)



断面図

下流側

上流側

凡例

P		表面処理工
		設置面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 表面保護材は固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m<sup>2</sup>以上とすること。
- ※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その10)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm、m
図号	全 18	葉中の内	11
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

# 木地山橋 補修図 (その11)

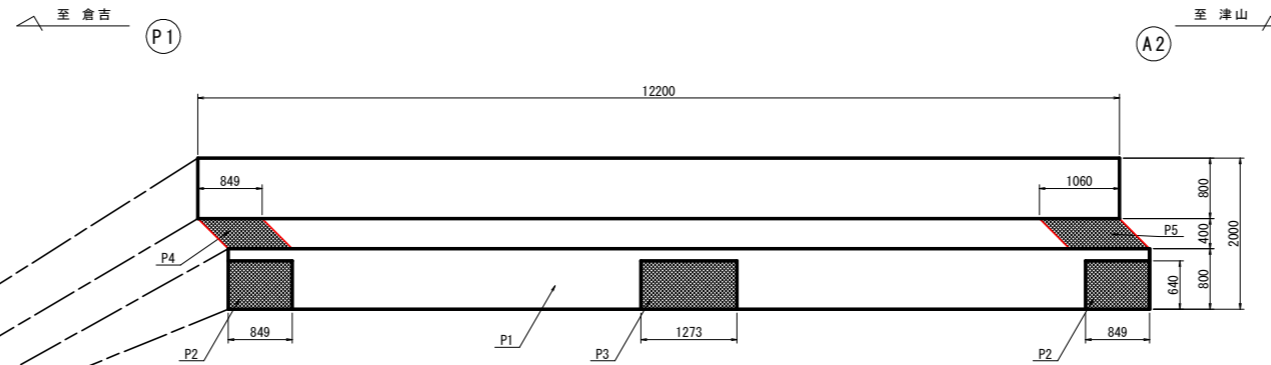
S=1:50

第2径間 (P1橋脚~A2橋台)

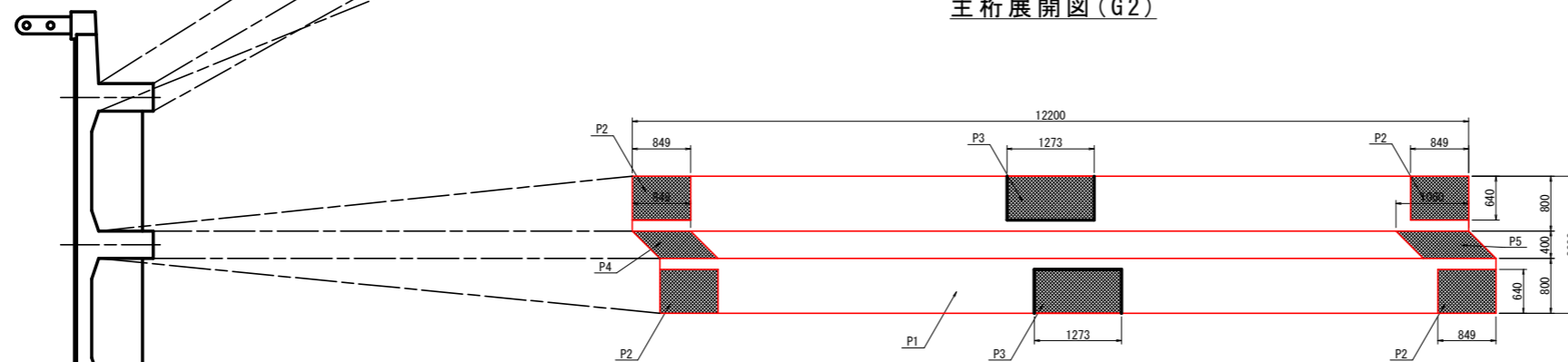
主桁

表面保護工

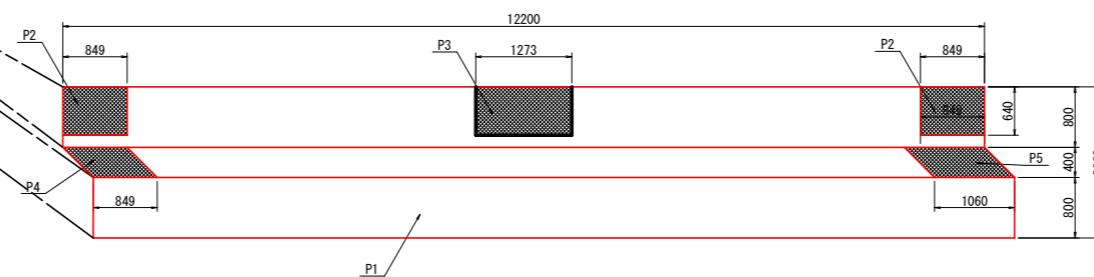
主桁展開図 (G1)



主桁展開図 (G2)



主桁展開図 (G3)



断面図

下流側

上流側

## 凡例

P		表面処理工
		設置面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 表面保護材は固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m<sup>2</sup>以上とすること。
- ※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

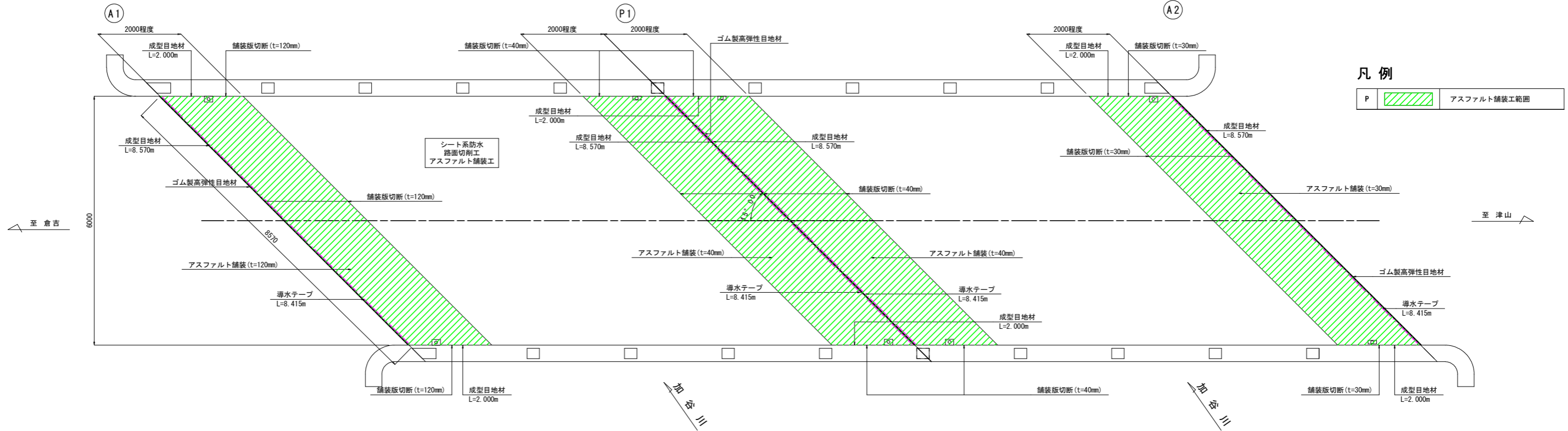
## 木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その11)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm、m
図号	全 18	葉中の内	12
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

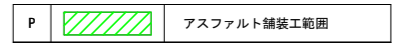
# 木地山橋 補修図 (その12) S=1:50

## 橋面・防水工

平面図

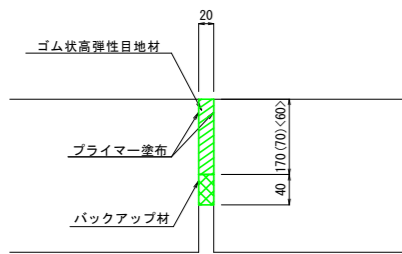


凡例



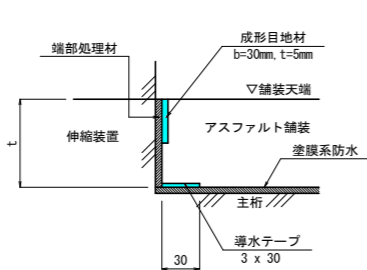
※ 増設する横断方向の導水テープは、舗装版撤去により露出した縦断方向の既設導水テープに接続させるものとする。

目地部詳細図 S=1:5



※ ( ) 内寸法はP1橋脚、< > 内寸法はA2橋台側を示す。  
 ※ アスファルトに浸透した雨水等を止水するため、施工前にアスファルト厚を確認し目地厚を反映すること。

横断排水, 端部防水詳細図 S=1:3



目地充填工数量表

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
目地充填工	TS目地ガードN	m	25.710	L=(8.570+8.570+8.570)=25.710
ゴム状高弾性目地材		m	25.710	
バックアップ材	ウレタンフォーム	L	20.568	

※特殊合材および付属物一式は、本体材料費に含まれる。

橋面防水工数量表

名称	規格, 寸法	単位	数量	備考
防水層	塗膜系アスファルト加熱型	m <sup>2</sup>	48.0	
導水テープ	t=3mm・W=30mm	m	33.7	横断
成型目地材	b=30 t=5	m	50.3	

舗装版切断工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
舗装版切断	アスファルト舗装	m	84.6	

舗装破碎工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
路面切削	アスファルト舗装 t=60mm~120mm	m <sup>2</sup>	48.000	
殻運搬	舗装版破碎	m <sup>3</sup>	2.760	
殻処分	がれき類	t	6.486	

アスファルト舗装工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
アスファルト舗装	アスファルト舗装 t=30mm~120mm	m <sup>2</sup>	48.000	

- ※ 本図面は、既往補修図面の舗装厚をもとに目地材施工深さを想定しているため、再度現地で確認のこと。(A1部は平均舗装厚として設定している)
- ※ 目地材は、舗装厚+30mm程度として決定すること。(既設アスファルト舗装厚を再確認のうえ、施工深さを決定のこと)
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。
- ※ コンクリートを削孔する際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。
- ※ 舗装撤去時に床版上面に不陸が生じた場合は、塗膜系床版防水層の適用を検討のこと。
- ※ 排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。
- ※ 防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。
- ※ 防水材塗布は、気温5℃以下では施工しないこと。

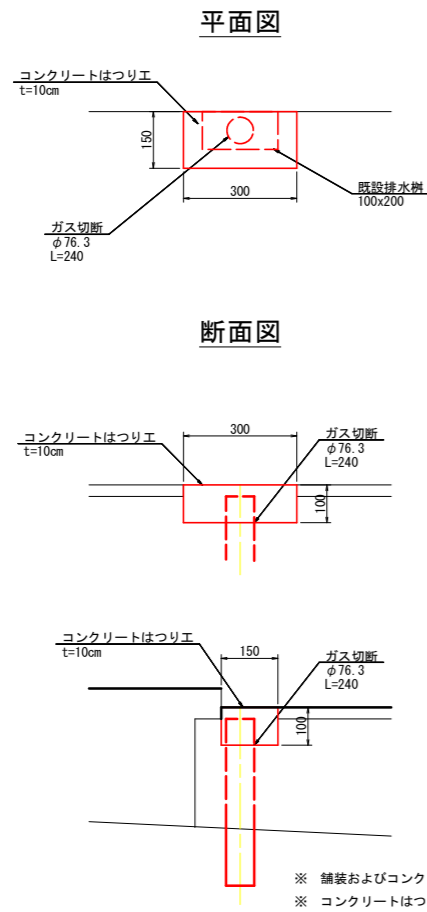
木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その12)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm, m
図号	全 18	葉中の内	13
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

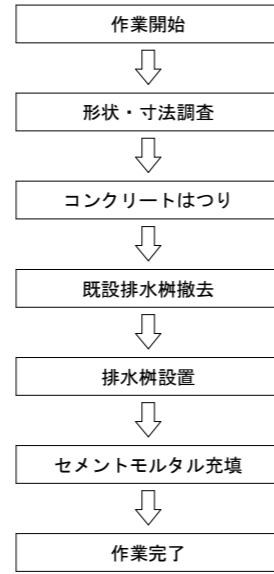
# 木地山橋 補修図 (その13)

## 排水柵取替工

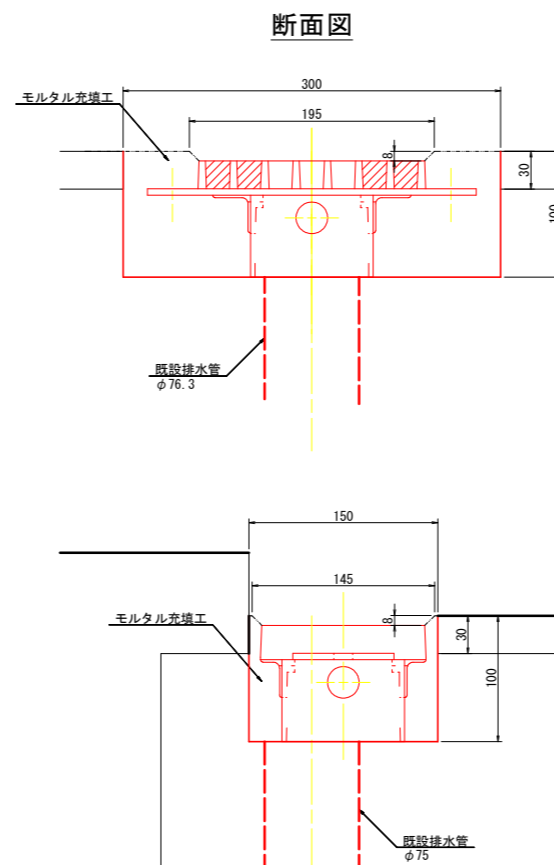
既設排水柵撤去詳細図 S=1:10



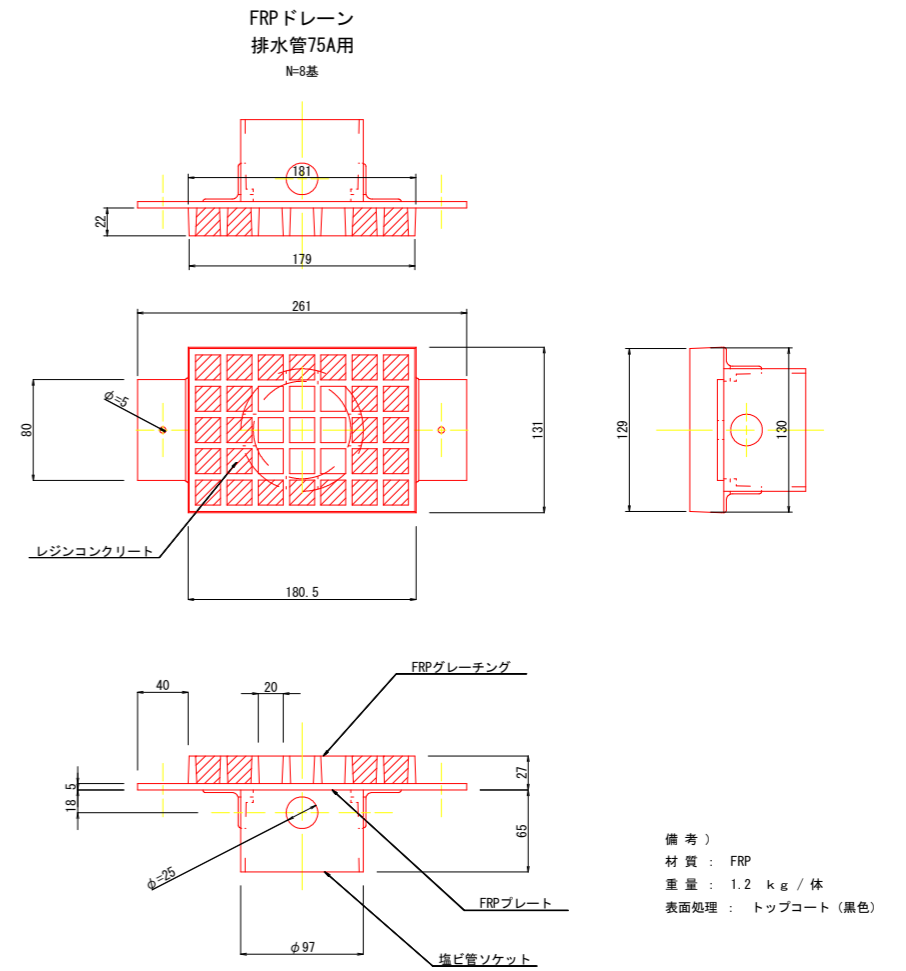
### 施工手順



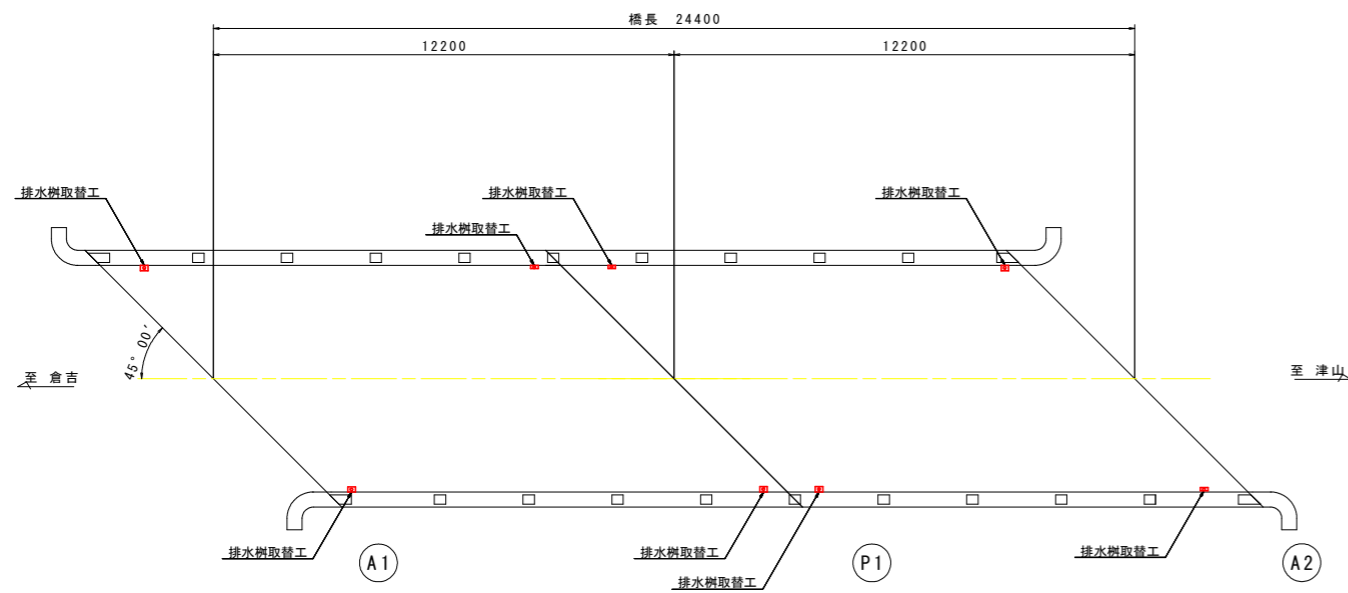
排水柵設置詳細図 S=1:3



排水柵詳細図 S=1:3



位置図 S=1:100



- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 形状・寸法については、施工時に再度確認を行うこと。
- ※ 土砂堆積、補生等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

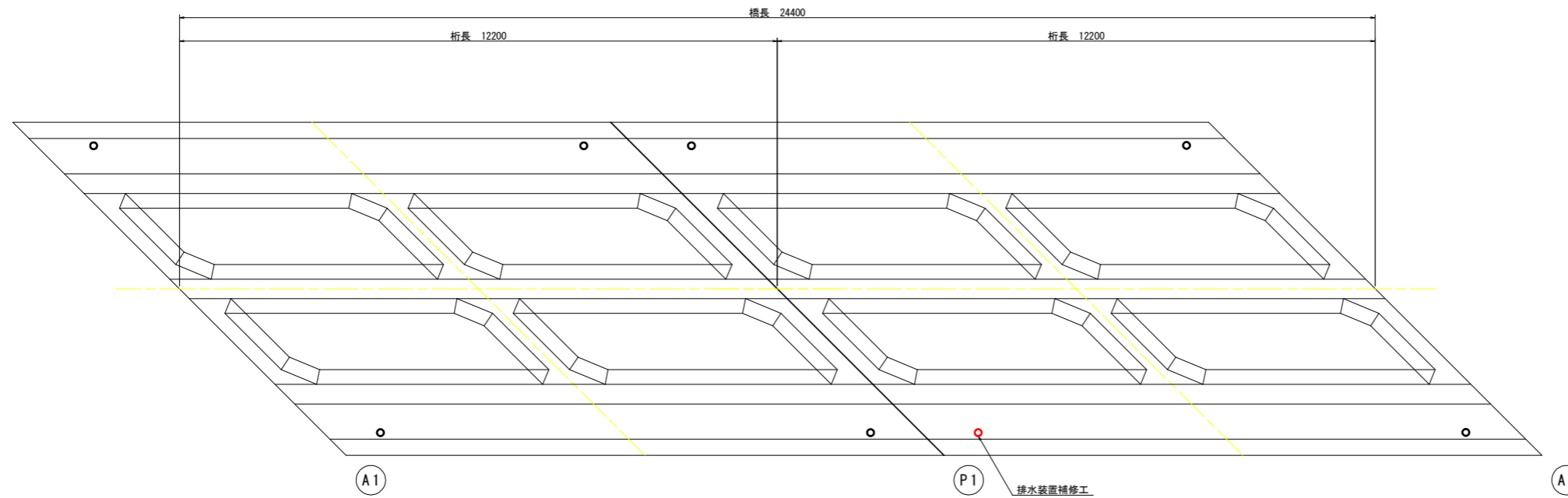
木地山橋			
路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その13)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm、m
図号	全 18	葉中の内	14
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

# 木地山橋 補修図 (その14)

## 排水装置補修工

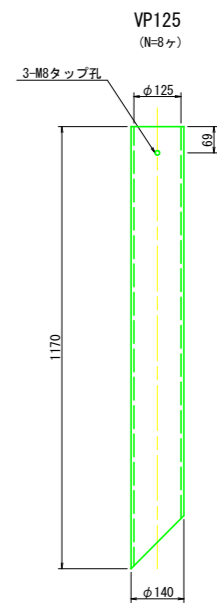
平面図

S=1:60



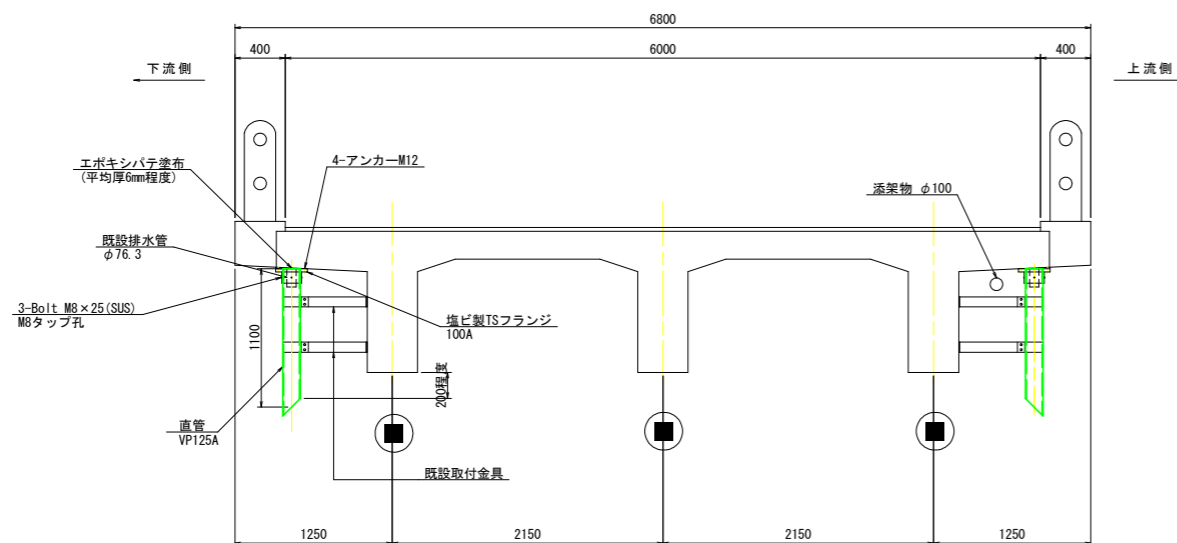
直管

S=1:10



断面図

S=1:50



排水装置補修数量表

(1径間当り)

名称	規格	単位	数量	備考
流心延長		m	1.100	
直管	VP125A	本	1	L = 1.170
塩ビ製TSフランジ	125A	個	1	
ボルト・ナット	Bolt SUS M8x25	本	3	塩ビ製TSフランジ用
コンクリートアンカーボルト設置工	打込み式あと施工アンカー M12	本	4	塩ビ製TSフランジ用

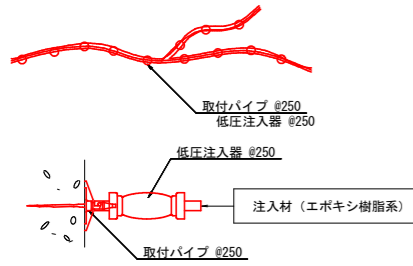
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 形状・寸法については、施工時に再度確認を行うこと。
- ※ 土砂堆積、補修等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

### 木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修図 (その14)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm、m
図号	全 18	葉中の内	15
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

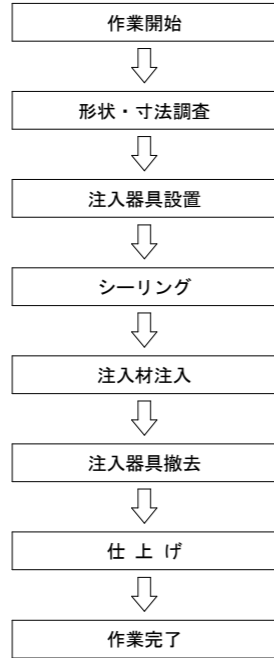
# 木地山橋 補修詳細図(参考図)(その1)

## ひびわれ注入工 (参考図)

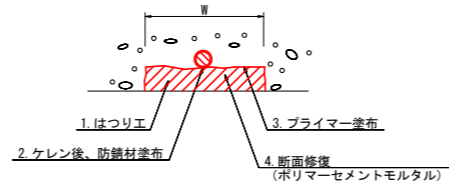


- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれについては、特に注入材の逸脱に注意すること。
- ※ 注入材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方から上方向に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。

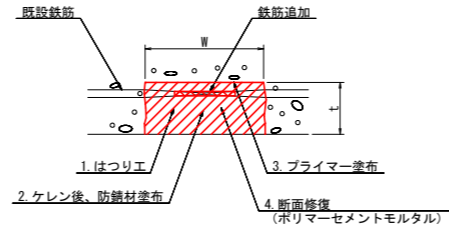
## 施工手順



## 断面修復工(左官工法) (参考図)

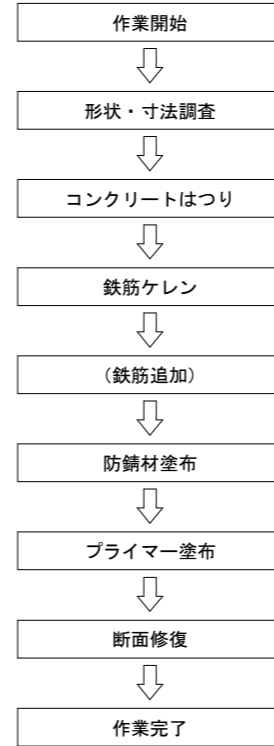


## 断面修復工(鉄筋追加)(左官工法) (参考図)

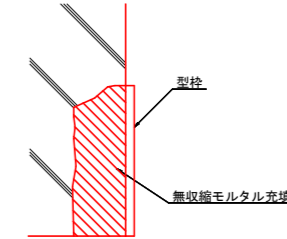


- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザーエッジとならない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所(25%以下)は、新たに同径の鉄筋を追加設置すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とするが、純かぶり10mm未満の箇所については、10mm以上のかぶり厚を確保させること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

## 施工手順

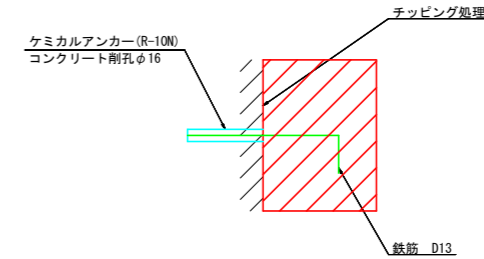


## 断面修復工(充填工法) (参考図)

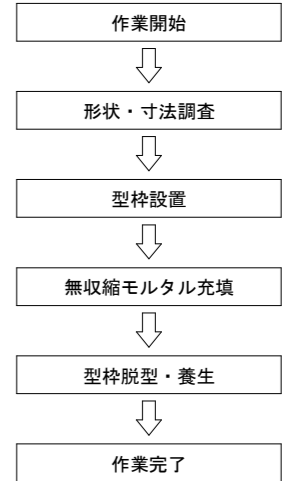


※ 劣化したコンクリートは除去すること。

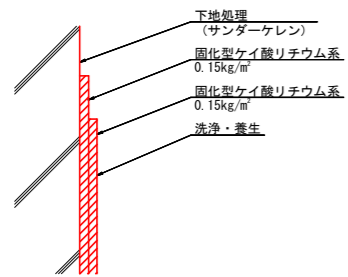
## 鉄筋挿入工 (参考図)



## 施工手順

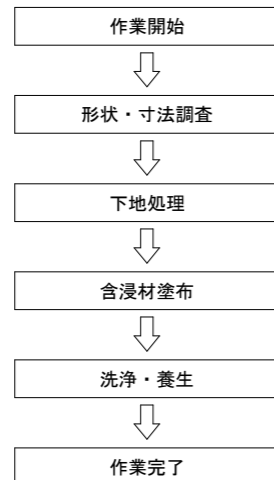


## 表面保護工 (参考図)

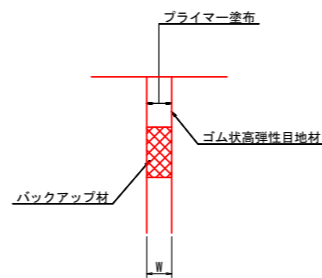


- ※ 表面保護材は固化型ケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m<sup>2</sup>以上とすること。
- ※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

## 施工手順

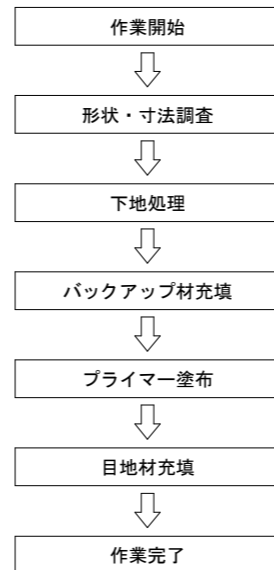


## 伸縮部止水工 (参考図)



- ※ 施工箇所の清掃を十分に行うこと。
- ※ 充填材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ アスファルトに浸透した雨水等を止水するため、施工前にアスファルト厚を確認し目地厚を反映すること。

## 施工手順

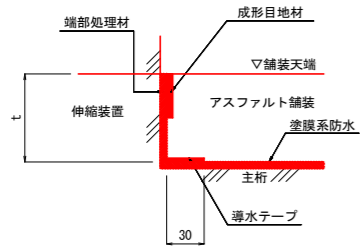


## 木地山橋

路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修詳細図(参考図)(その1)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 18	葉中の内	16
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

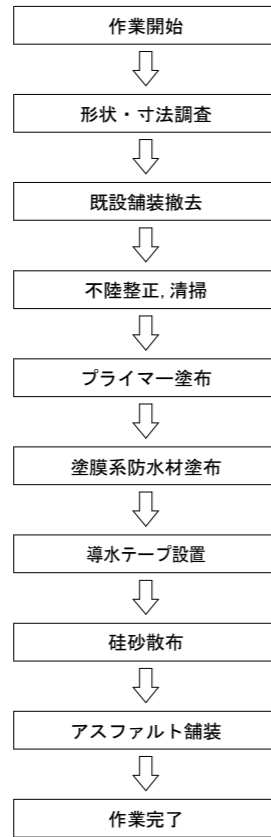
# 木地山橋 補修詳細図(参考図)(その2)

橋面防水工  
(参考図)

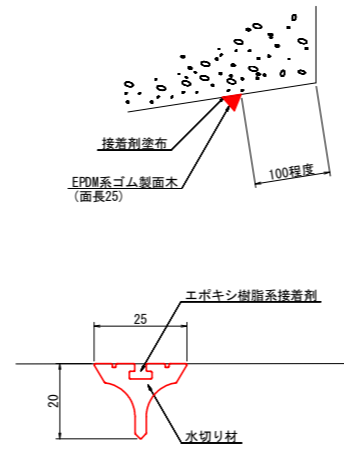


- ※ 舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。
- ※ コンクリートを削孔する際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。
- ※ 既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は、モルタル等で不陸整正を行うこと。
- ※ 排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。
- ※ 防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。
- ※ 防水材塗布は、気温5℃未満では施工しないこと。

施工手順

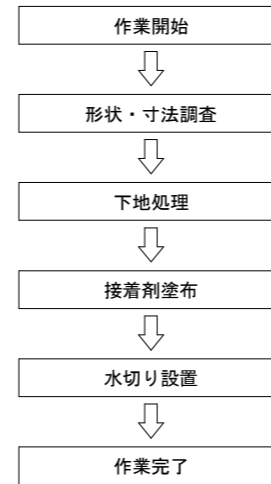


水切り工  
(参考図)

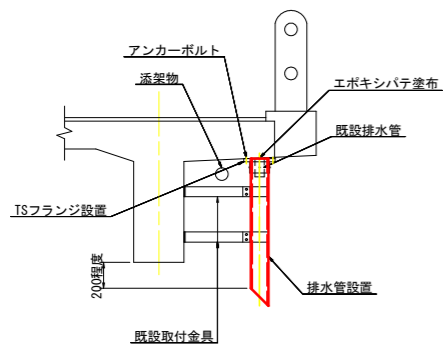


- ※ 水切り設置面のコンクリートは、不陸のないよう調整を行うこと。

施工手順

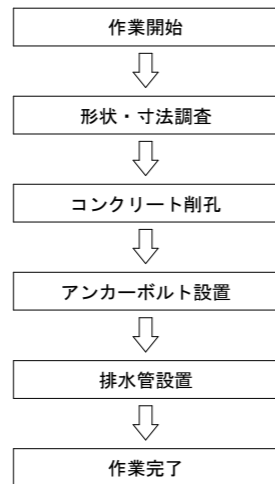


排水装置補修工  
(参考図)

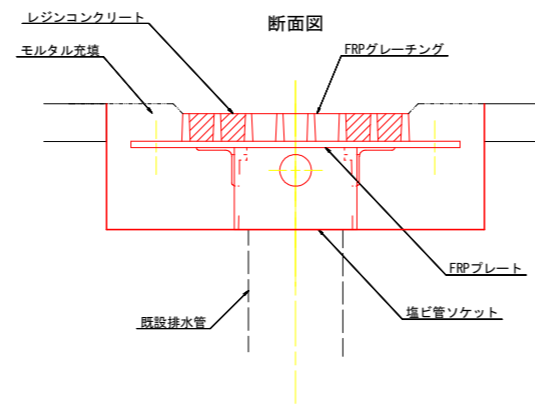


- ※ コンクリートを削孔する際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。

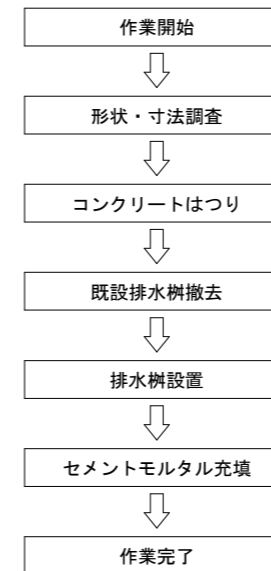
施工手順



排水柵取替工  
(参考図)



施工手順

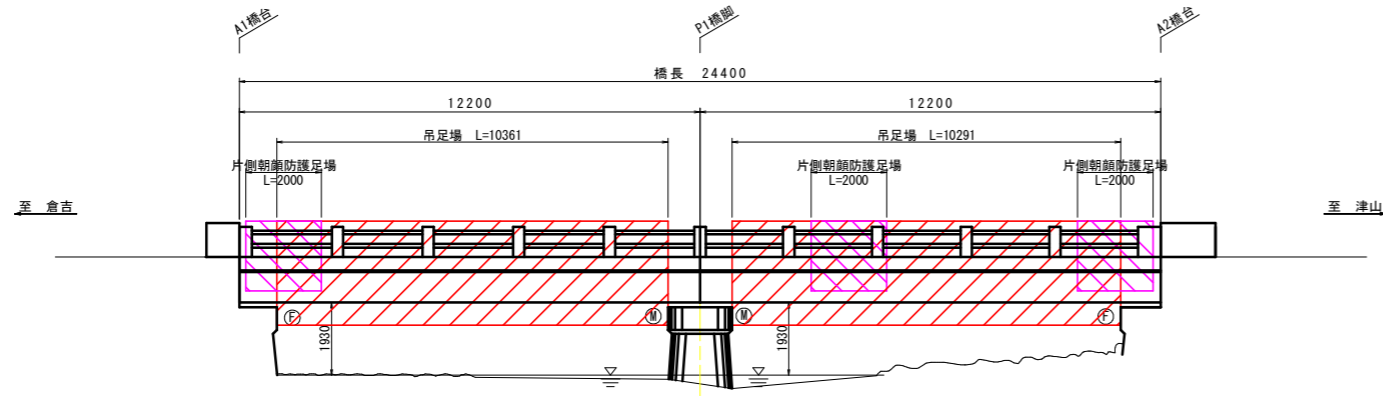


木地山橋

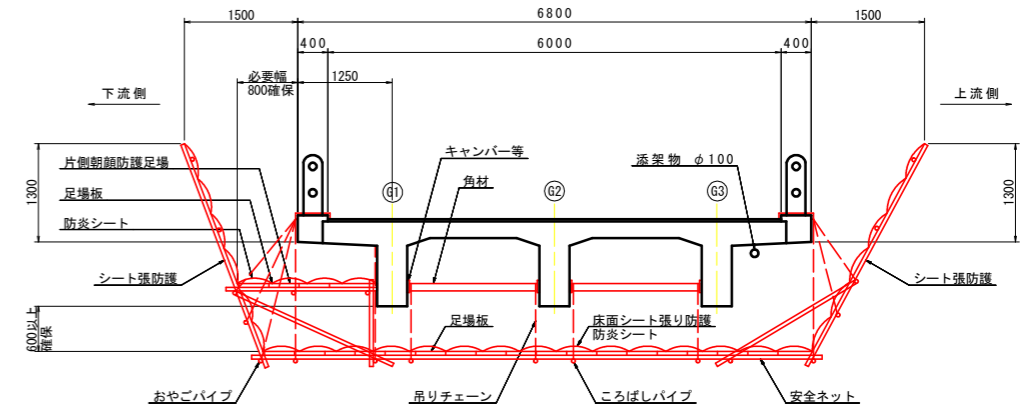
路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 補修詳細図(参考図)(その2)		
位置	東伯郡	三朝町	木地山 地内
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 18	葉中の内	17
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			

# 木地山橋 仮設足場図(参考図)

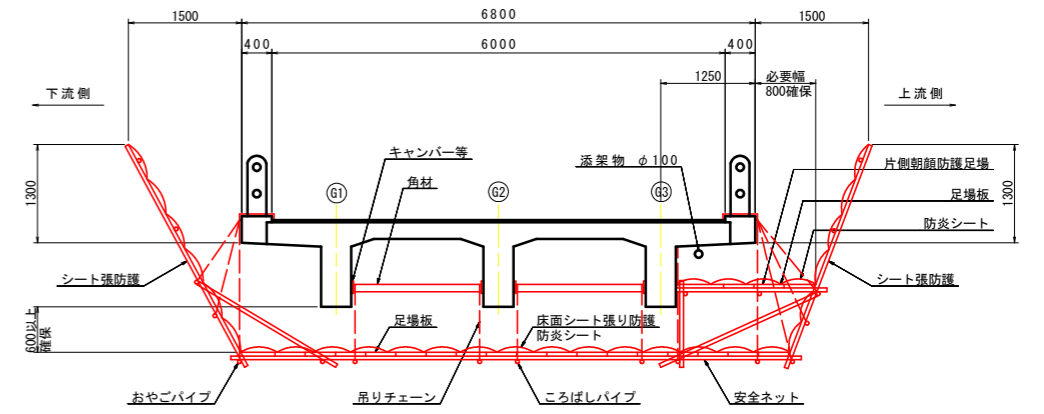
側面図 S=1:100



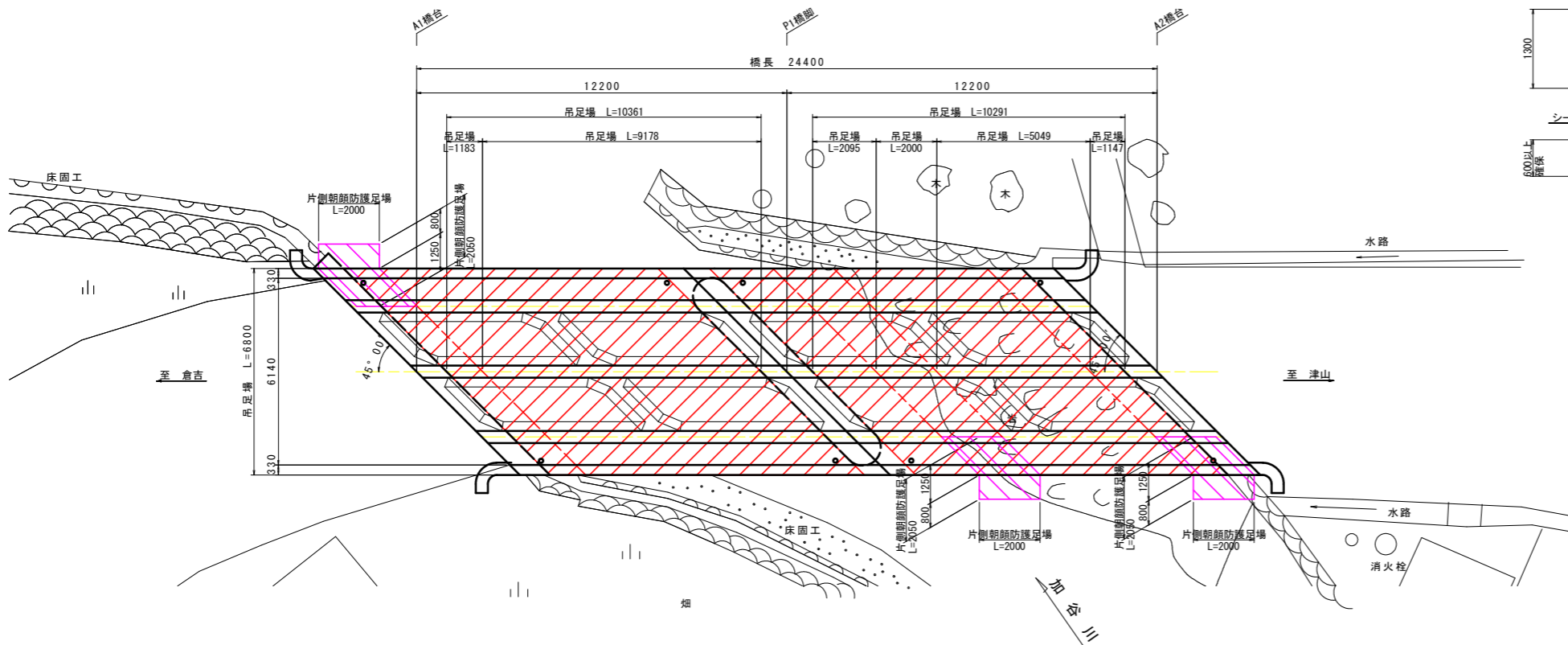
上部工断面図 S=1:50  
第1径間



上部工断面図 S=1:50  
第2径間



平面図 S=1:100



凡例

	吊足場 (TYPE A1)
	片側朝顔防護足場 (TYPE E)

※ 足場架設は添架物の干渉を避けて設置すること。  
 ※ 添架物に干渉する場合は、防護を行うこと。

木地山橋			
路線名	木地山線		
木地山橋橋梁補修工事			
図名	木地山橋 仮設足場図(参考図)		
位置	東伯郡 三朝町 木地山 地内		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 18	葉中の内	18
令和 8 年度施行 三朝町			
三朝町 建設水道課			